花とゆめCOMICS

玄椿

くろつばき

河惣益巳

6



花とゆめCOMICS

玄椿（くろつばき）

6

河惣益巳

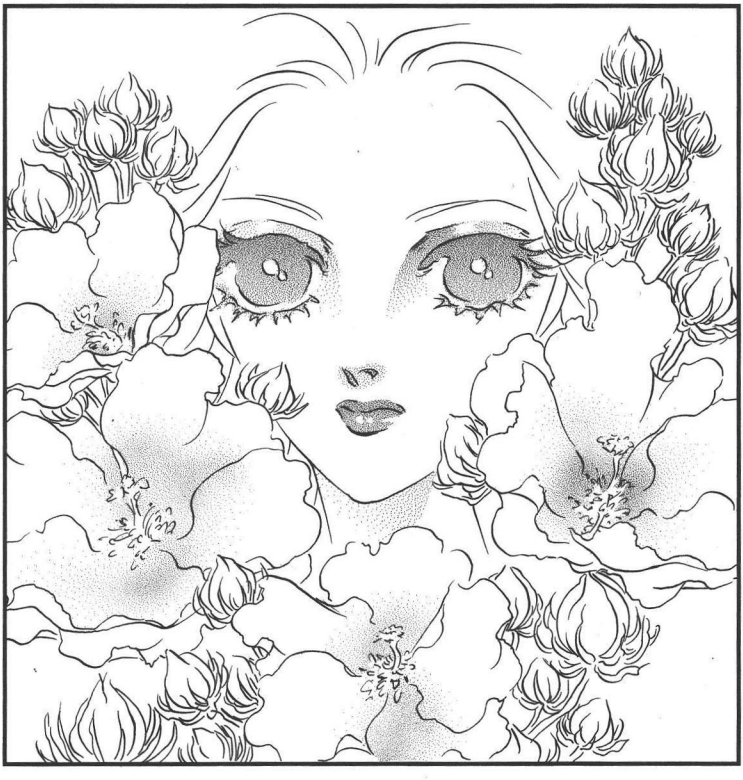
花とゆめCOMICS

玄椿

くろつばき

第6巻

河惣益巳





この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などにはいっさい関係ありません。

目次

玄椿―芙蓉花―……5
玄椿―龍笛―……45
玄椿―闇魔天狗―……87
玄椿―夏祭り―……137
河惚的日々是好日……86


ー芙蓉花ー


暑――いっ
去年も思ったけど京都の夏ってもの凄いなァ
今年は特に凄いらしいぇ
ここ何日かで鴨川の水が干上がってるて
盆地特有の夏やけど京のは「油照り」ゆうのやろ？
なァ？唐糸ちゃん
ん～


京都の人は毎年こんなんで平気なん!?
んにゃ 平気やあらへん
生まれてずっとこの夏やけど
私もよお慣れん
やっぱり〜〜〜


太郎ちゃん!
太郎ちゃんは去年も平気みたいやったけど?
うん暑いのはへーき
でもこの汗はどうしようもないね


着物は濡れちゃうし
お化粧は流れちゃうし
毎日の猛暑の中で
いつも水を打った様に
凛として綺麗な胡蝶さんお姐さん
とってもお姐さんみたいにはいかないなァ


風に揺れる
柳のように
なよやかで
どんなに強い
日差しの下でも
この花みたいに
華やかで
涼しげで…
…この花！
去年もここに
咲いてたよね
何の花？
さあ…？
きれいな
ピンクやねェ
大きいし


…芙蓉じゃ
芙蓉花と
申すのじゃ
そは


ああァ!?
真っ昼間から幽霊を見たァ!?
祇園胡蝶
女将ーさん
旦那ーさん
ホ…ホンマなんどすぅ
そこの白川沿いの柳の下にボーと…
柳…ね
別に柳なんかなくても
この街はどこからでもお化けくらい湧いて出るぞ
え!?


日本史上
京都(みやこ)くらい
陰謀(いんぼう)と
戦乱まみれ
だった街は
ないんだ
原因は
ここに天皇が
いたからだがな
その天皇を
取り合って
千年もの間
公家も武士も
騙(だま)し合い
殺し合い
血を流し
街を焼き
何度も何度も
くり返して…
終わったのは
約百四十年前だ
以来一度も
京に戦火はない


まあ
その覇権争いは
別としても
ここ東山一帯は
ずっと
京の斎場みたいな
もんだったからな
さっ
斎場
!?
そうだ
西側に流れる
鴨川の河原は
元処刑場だし
東側の
山麓
特に
鳥辺山の辺りは
明治まで鳥葬
つまり死体の
捨て場として
有名だった場所だ
あんた
京の人
やのに
知らへん
かったん
か!?
う…
うん
ひえ〜


実際俺達の今いる地下にだって人骨の一ツニツ埋まってたっておかしくない
あまり怖い怖いと思ってると余計視えるぞ
やれやれ
向こうも面白がるし
特にこれから盂蘭盆会の時期だからな
祇園
現世に戻って来た亡者がそこらをウロチョロしてるはず
旦那さ～ん
ぅ～ん～ん
おどかすんはやめとおておくれや～す
祇園
…と思えば
少しは涼しくならないか？
祇園
胡


芙蓉
芙蓉
ええ
そうよ
「芙蓉」は
ウチの屋号よ
夏世医師
ウチも
先代…
私の母まで
お茶屋
だったのよ
でも娘の私は
舞妓にも
女将にもならず
医者に
なんて
なっちゃったし
他に跡を
継いでくれる
兄弟姉妹も
いないんで
母が亡くなって
廃業しちゃった
のよ


芙蓉は
アオイ科の
一日咲きの花よ
現在では夏から
秋にかけての
祇園白川沿いの
風物詩だわ
日本じゃ
奈良・平安朝から
愛されてる花だし
中国じゃあ
元来 蓮の花を
さすのよ
白楽天の
「長恨歌」では
楊貴妃の
美しさを
喩えている
「芙蓉の面
柳の眉」
つまり
とびきりの美女の
代名詞ってことね


確かに凄く
きれいっぽい
女の人だったけど…
あんたら
昼間 ここで
お化け見たん
やてなァ？
もう
言わんといて
下さいっ
お姐さ～～～ん


なんで？
だって怖いやないどすか
もう一人やこの辺歩かれへんわァ


大丈夫やここらは大明神はんが護ってくれてはるよって
悪いモンは出られへんよ


大明神はん…って？
そこにお社があるやろ？
ホンマや
辰巳大明神
辰巳…大明神？


辰巳って？
辰と巳
竜と蛇？
京都御所
川端通
三条通
柳池通
鴨川
白川
辰巳大明神
東橋
四条通
南座
北貝小路
一力亭
方角や
御所から見た辰巳の方
つまり東南やな
子
丑
寅
卯
辰
巳
午
未
申
酉
戌
亥
こうや
それからこの白川や
流れる水は汚れや穢れを洗い流すゆわれてる
ほやからここで亡くなったモンはみいんな浄化されてはるよって
怖いことはなァんもあらへんよ
へーっ
そーなんどすかァ


太郎ちゃん
フーン そっかァ
川ってそんな作用もあるんだ？
ひゃっ
どないしたん？太郎ちゃん
違う！
さっき水に映ってたのはお姐さんじゃない!!
胡蝶さん
お姐さん…


あれは確かに昼間見た…
…胡蝶？
胡蝶！

見い出したり

胡蝶

なあ～

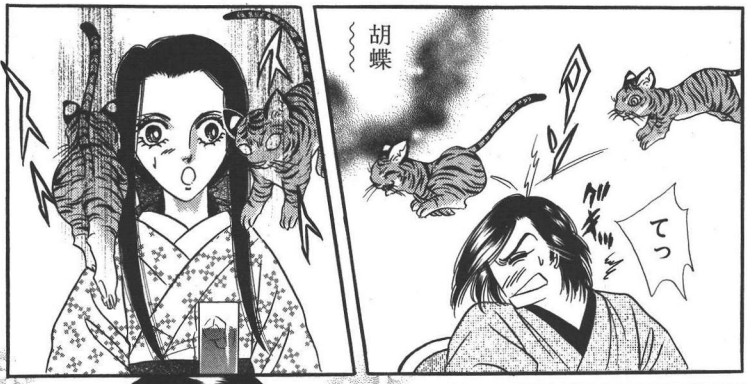
ふぅ


なあ〜っ
おまえら
いい加減にしろよ
カチ
カチ
…ったく


いくらねばってもムダだぞ
家には絶対入れてやらんからな
無礼な
言わせてるのはおまえらだろうが！
自分達のしたことを忘れたか!?
…つれないぞ
おぬしなぜそのようなことを言うか？
神の使いを拒むか!?
用ならさっさとそこで言って消えろ
どうせ俺にしかきこえないんだ
お！
あの狸上ったな
仕事の邪魔をするな


使者をもてなすは屋主の務めであろうが！
限度ってモンがある！
ぬけぬけと…
おまえら自分の本体の図体考えたことあるのか!?
…胡蝶も気の毒なことよ
夫がこの様な吝嗇とは…
誰が吝嗇だとっ……
恵兄はん？
何一人でどなってはりますの？
あれェ？
阿ちゃん！
吽ちゃん！
来てはったん？


二匹ともそないな所で何してはるの？
おいでおいで
早うお入りやす
なァ♡
うわっ
よせっ
結花
招び入れるんじゃないっ


胡蝶
てっ


このっ…
いっ
よくも屋主を足蹴にしやがったな
本当に何も食わせてやらんぞっ
ゴロゴロ



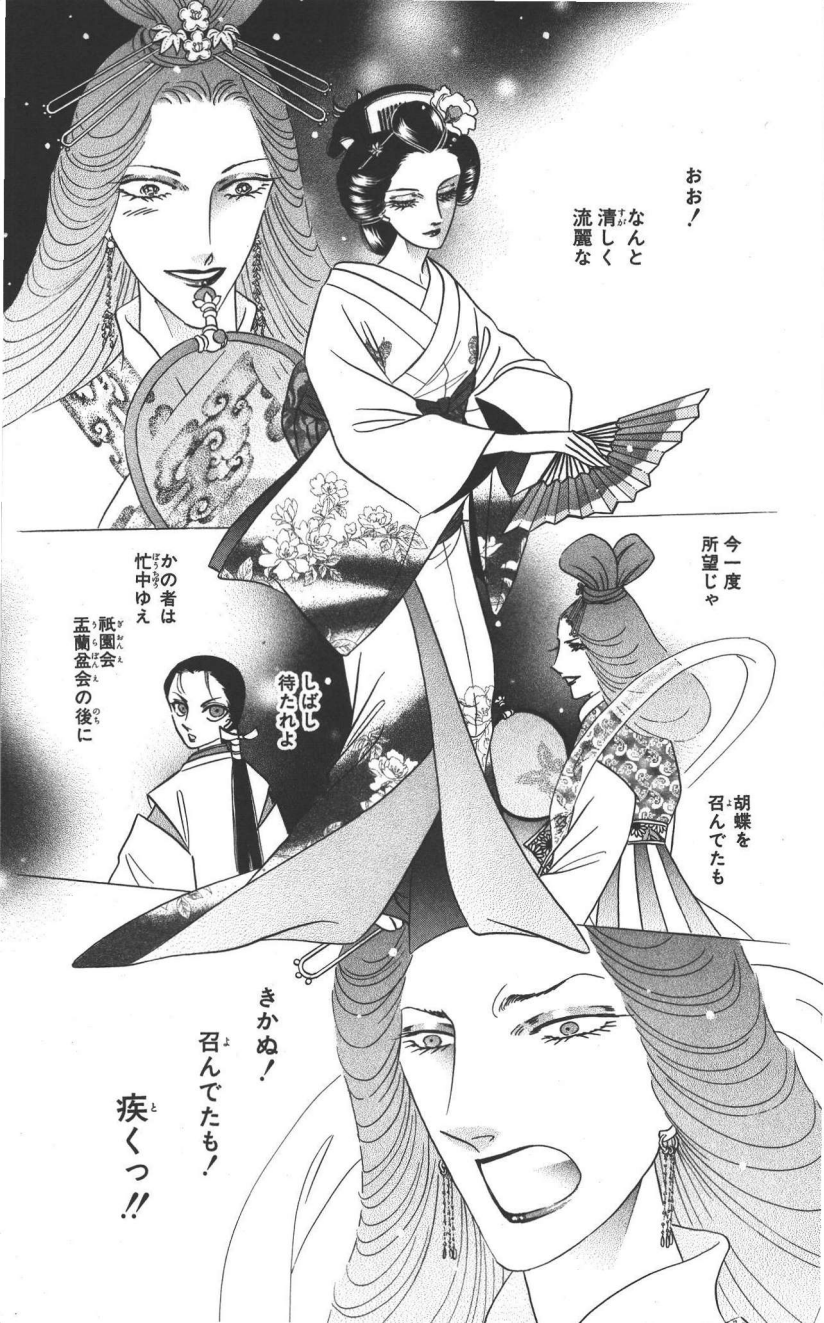

美味い!!
よかったな兄はん
乙女姐はんと皆が休日で買い物行っとって
そりゃどーもおーきにありがとさん
へーへー
いつもながらおぬしの割烹は格別じゃな清白屋!


二年前の夏から胡蝶の副官になった鞍馬山の三神
護法魔王尊
千手観音
毘沙門天
その内の一柱毘沙門天の従者ども
阿吽の虎
よ


使いの駄賃代わりに
一度ふるまってやったなら
お山の霊気よりうまーい
♡
味をシメて毎回ねだられるハメに!!
……
くれーくれー
もっとくれー
で？
今回の使いの向きは何だ？
わざわざ鞍馬から俺の料理食いに出してくれたわけじゃないだろう？
あの三柱は
谷の姫のお姿が
ここ数日見当たらぬのだ
祇園においでではあるまいか？


清白屋胡蝶？
そはたれぞ？
舞姫である
鈿女もかくやの上手ぞ
そのような舞手が人間におるのか!?
なれば妾も所望じゃ！
ならば召されればよろしかろう
谷の水の祭りへ


七月七日の
貴船の
水祭りの
奉納舞？
それを
私に？
なんで？
兄はん
ああ
なぜか
おまえ一人に
名指しで来た
…ヘェ
喜んで
…
あれが
胡蝶？


おお！
なんと
清しく
流麗な
今一度
所望じゃ
胡蝶を
召んでたも
しばし
待たれよ
かの者は
忙中ゆえ
祇園会
盂蘭盆会の後に
きかぬ！
召んでたも！
疾くっ!!


……
…つまり何か？
鞍馬の三神が結花の舞いをあんまりホメるから
となりの貴船神社の女神様がうらやましがって
自分も観たいと言い出した…と？
そうだ
……
水祭りに招ばれたのはそのせいか…
そして実際気に入ってもっと観たいとダダをこね
それから？
女神様は!?
それで消えてしまわれたのだ


じゃあ
女神は
どこへ
なれば
妾自ら
連れ来よう
かの者のまといし
水の気をたどりて
水は絡がる
地上も
地下も
天上にも
黄泉にも
見い出したり
胡蝶


ひゃー
今日も暑くなりそうやなァ
イヤやなァ
かなんわァ
お午前のお稽古に出かけるだけでも汗ダクやわ
胡蝶さん姐さん
汗かかんでええ方法教えとおくれやすな
アホやなそないなコトできる訳ないえ
嘘やァ
お姐さんホンマにかいておへんもん
それはなァ
胡蝶？


胡蝶
わっ
なっ
何ィ!?
水が川から
上って…
胡蝶
え?


あんたはんは…？
疾く来よ
我が宮へ
お姐さん危ないっ
へ？
何？
ちょお待っとくれや…
川に落ちる…


…柳が
私を
救ってくれた
？
ふん
ふん


芙蓉花がまとわりつく
な…何じゃ？
ああ！
止めよ！
妾の邪魔をするでない!!
何者か!?
我の護る地で無体は許さぬ!!


その者
我が眷族(けんぞく)なり
！
勝手に
連れゆくなど
させぬぞ！
大明神はん
…!?
疾(と)く
去(い)ね
!!
さむなくは
…
おのれ
！
土地神
ごときが
よくも
妾(わらわ)に!!
ちょ…
ちょお
待っとくれ
やす！
お二方(ふたかた)
とも


こっちだ
さっきから凄い霊波が
結花っ
太郎
唐糸
妙蓮
薫風
どうした!?
何があったんだ!?
何が…って
よおわからしまへん
何が何だか…
私らには…
結花!?




ここが貴船(きぶね)!?
ひゃーっ
すずし——っ
凄いっ
空が見えないくらい樹(き)が繁って…


谷を流れるのが鴨川の源流の一ツ貴船川
東側は鞍馬山だ
おとうさん?


海神の娘で
初代天皇神武の
生母・玉依姫は
黄船に乗り
淀川・鴨川を
さかのぼり
着いた細流に
社を建てた
これが貴船神社の
縁起だとされている
祭神は
高龗神
龍神の
ことだ
鞍馬の
三神の一柱
毘沙門天は
別名・多聞天
四天王の
一人
黒の
北方神将
北の
護り神で
あり
水の
守護者
海の神の姫と
竜の棲まう
谷と
玄将軍の
座する山
つまり
京の北は
水の神の
領域なんだ
な…っ


貴船は又
キセンと読める
あーちゃん
うんちゃん
キセンは
黄船
黄船は又
黄泉と
書き換えられる
なあ
黄泉
あの世
谷の奥の
昼なお暗い
水の宮
姫君は
いつも淋しくて
…


胡蝶!?
…
玉依姫(たまよりひめ)はん
これを
どうぞ
辰巳大明神はんは
この花の咲く
期間(かん)だけなら
あんたはんを
お訪ねしてもええ
ゆわはりました
さかい
芙蓉花?

聖なる芙蓉(ふよう)は
たとえ
神の邪心をも
防ぐ

それで
よろしおす
やろか？

おお！
まことか!?

妾(わて)の非礼を
許して
くれやるか？

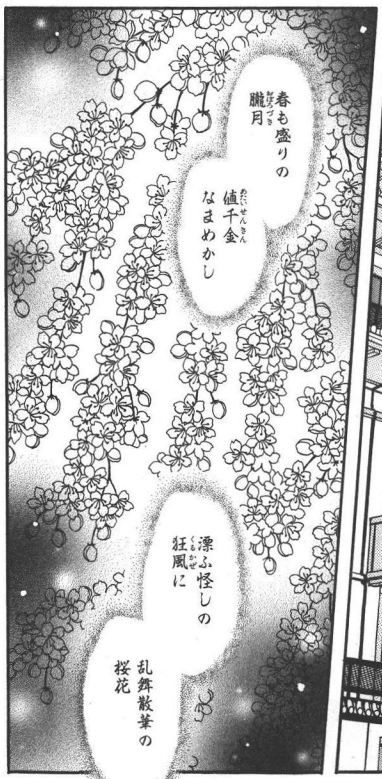
やれ
嬉(うれ)しや

ではこれよりは
盛夏の
花の使いを
待とおぞ

芙蓉花一／おわり


龍笛
りゅうてき

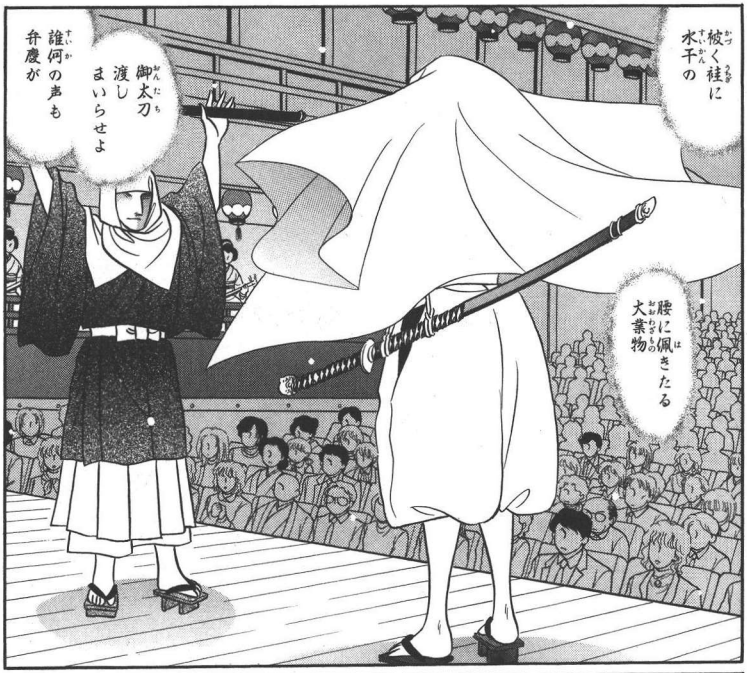

都をどり
■4月1日 — 4月30日
お買物は 高松屋

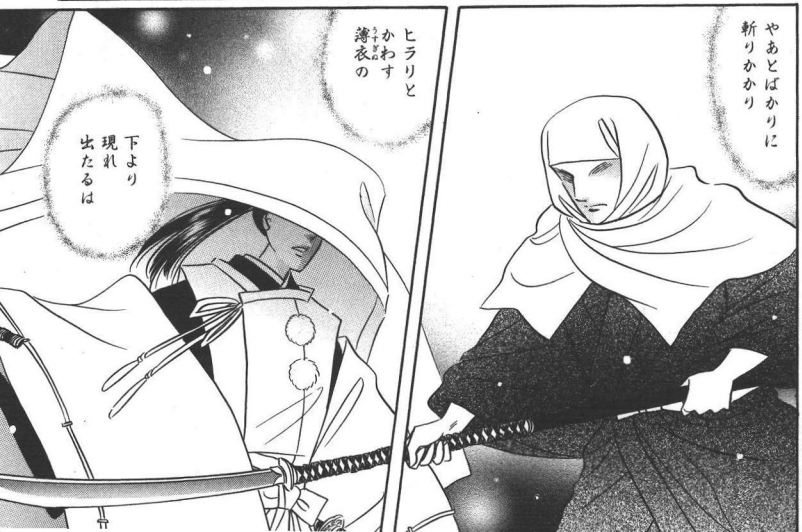

春も盛りの
朧月
値千金
なまめかし
漂ふ怪しの
狂風に
乱舞散華の
桜花

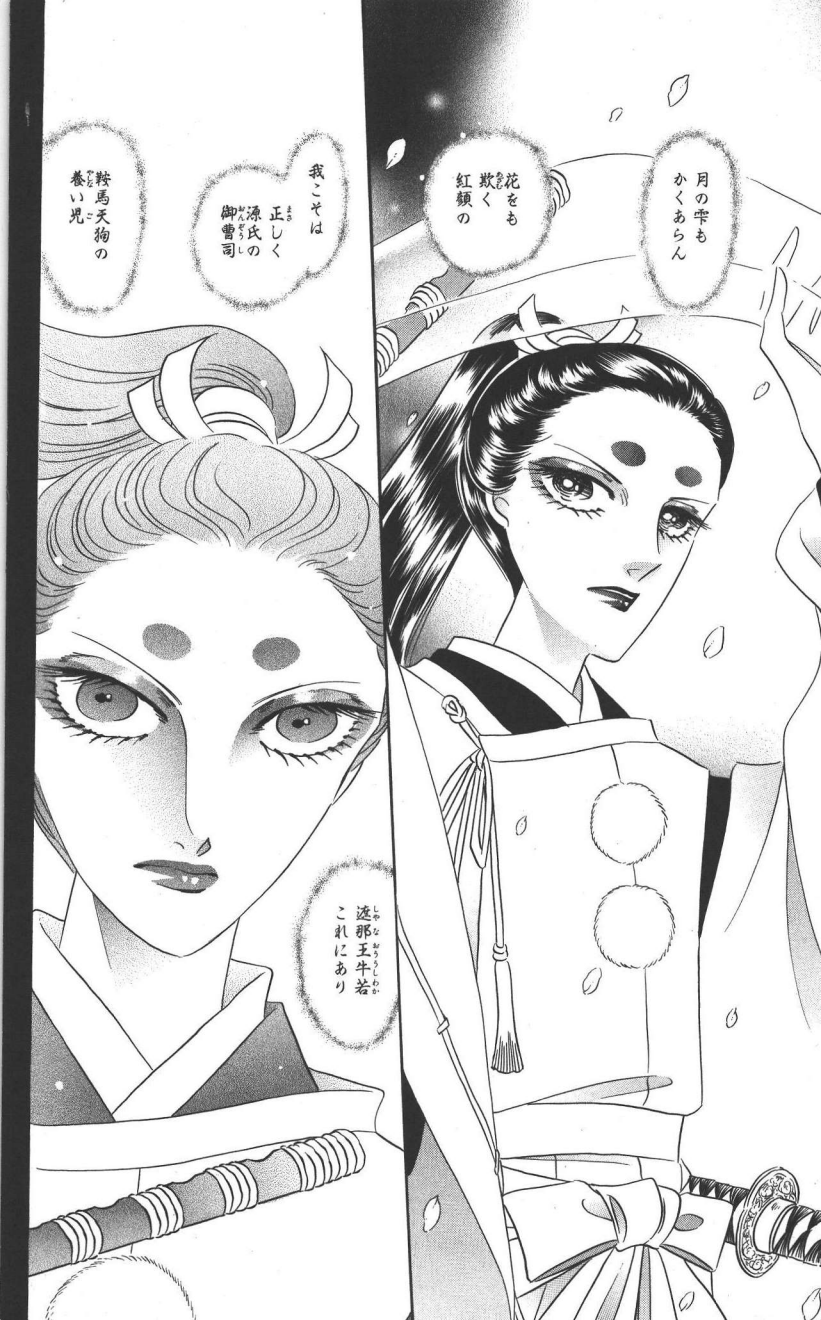



京の五條の
橋の上
降り散る桜の
その下に
三尺五寸の
大薙刀
持ちて
待ちたる
偉丈夫は
音に聴こえし
荒法師
洛中一の
剛力と
これや弁慶
武蔵坊
挑みて得たる
大太刀は
今宵満願
一千本
いざ参れ


笛の音高く
五條橋
闇を分け来る
影法師
静寂に冴えて
蕭々と


被く袜に
水干の
腰に佩きたる
大業物
御太刀
渡し
まいらせよ
誰何の声も
弁慶が


やあとばかりに
斬りかかり
ヒラリと
かわす
薄衣の
下より
現れ
出たるは


月の雫も
かくあらん
花をも
欺く
紅顔の
我こそは
正しく
源氏の
御曹司
鞍馬天狗の
養い児
遮那王牛若
これにあり




…すごいな
恵ちゃん？
牛若と弁慶の立ち合いは
殆ど太郎の笛の独奏じゃないか
あいつよく…
ああなんかなァ
確かにずい分と効果的な場になってるが…
試し？
笛の師匠がな
少し試しにやってみよか…て

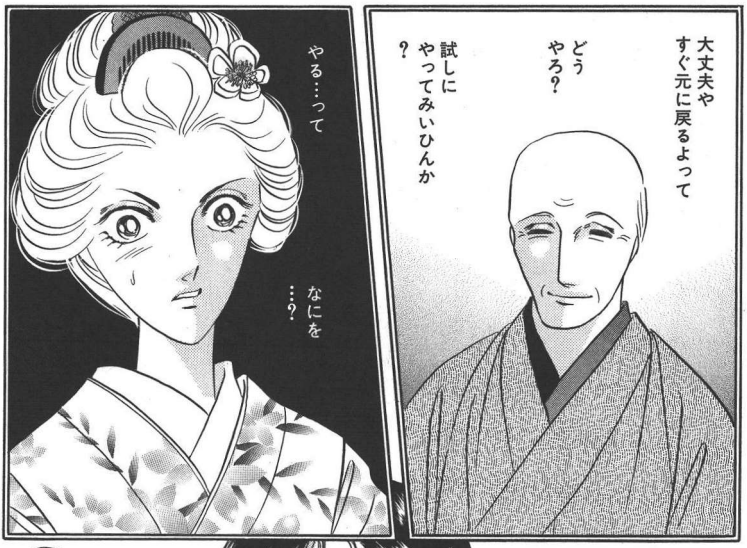


平安末期の五條通は、現在の松原通に当たる。(現在の五條通は豊臣秀吉により南にズラされたもの)

平家の屋敷が集まる六波羅は鴨川の東にあり、松原通は都の中心から六波羅への一本道だった。

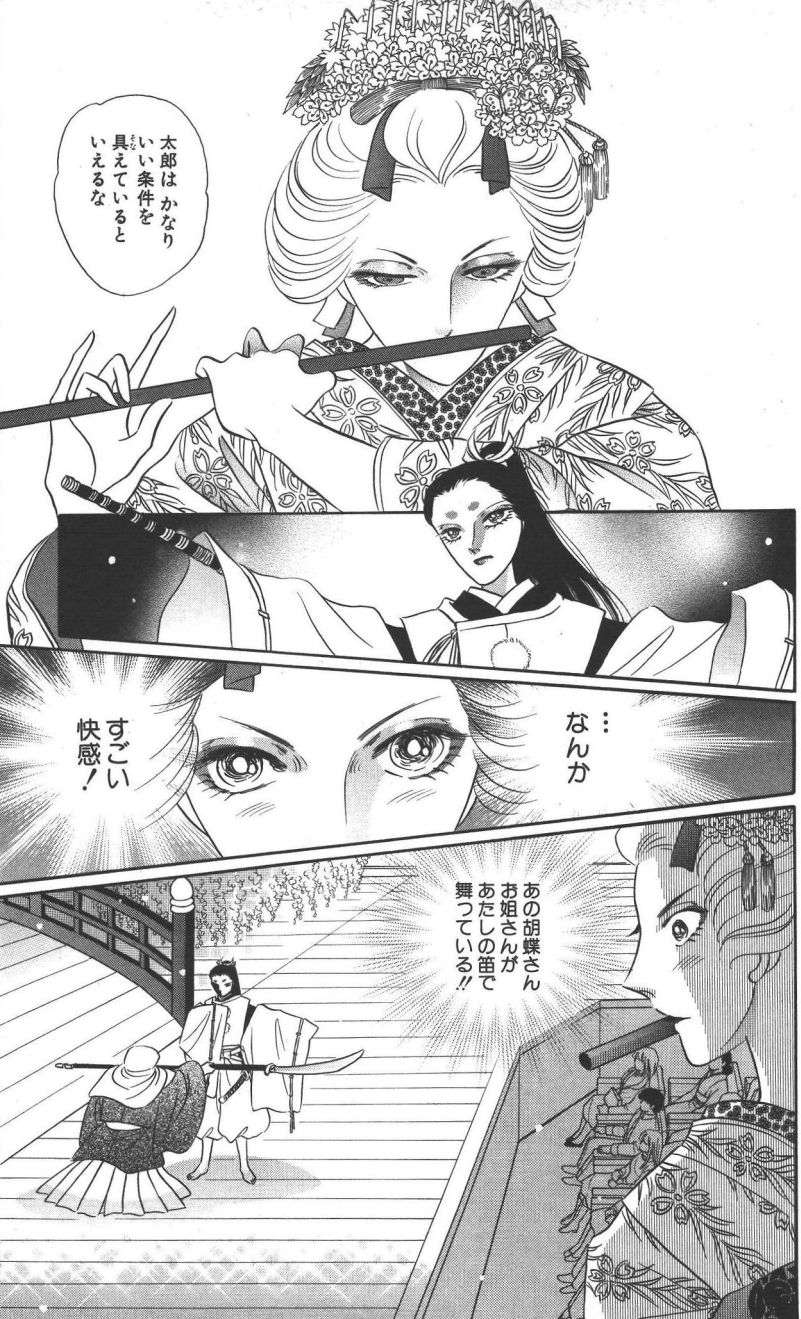
これは清水寺への参詣通でもあり当然、鴨川にもそれなりの橋がかかっていたと思われる。故に、牛若丸が潜んでいた五條橋は、これだとも言われる。
(五條通にかかっていた橋は、すべて「五條橋」)


…ヘェ
陸上競技
どしたけど
…
息は
いかほど
ありました
のや？
は？
息!?
肺活量や
なんぼどす
？
え〜と
確か
最後に出場た
競技会の時
測ったのは
五千と
ちょっと…かな
五千
!!?
あんたはんら
くらいの娘はんは
普通三千あるか
なしですやろ!?
ん…
走るのやめてから
二年は経ってます
よって
多少は
おちてる
思いますけど


大丈夫や
すぐ元に戻るよって
どう
やろ？
試しに
やってみいひんか
？
やる…って
なにを
…？


五千…ね
一流の
陸上選手や
水泳選手は
かなりの
肺活量だと
きくが
さすが
だな
元・超高校級の
短距離選手
俺だって
そんなにないぞ
笛を吹く
のやから
息をはく量が
多い方がええに
決まってるやろけど
演奏自体に
そない差が
出てくるもん
なんか？
毎年 この
「都をどり」の
笛方の妓は
普通の娘やで
管楽器
つまり管状で
口で吹いて音を出す
吹奏楽器のことだが


これは笛 フルート サックス などの木管楽器と
トランペットや トロンボーン ホルンなどの 金管楽器が あるんだが
きいた 話だが
後者の 西洋楽器は 子供の内は 吹かせないのだ そうだ
ちゃんと 成長した 肺でないと 機能を 損なう率が 高いらしい
それ程 ハードなんだ あの手の 楽器は
へー
日本じゃ 常時 笛を吹く 人間は
伝統芸能の 継承者が 殆どだが
修行中 酸欠で 気絶した なんて話が よくあるな
「をどり」の お囃子で
笛方が やるくらいなら "普通"で 充分だろうが
それなり もしくは
それ以上の 奏者になろう というなら


太郎は かなり
いい条件を
具えている と
いえるな
…
なんか
すごい
快感！
あの胡蝶さん
お姐さんが
あたしの笛で
舞っている!!


あたしが
祇園の胡蝶を
舞わしている
？
いやっ
胡蝶はんお姐はんの
牛若丸
よおおしたわァ
そうかァ
？
ヘェ
綺麗で
可愛らしゅうて
それでいて
凛々しゅうて
おおきに
私
お姐はんが男はん役
舞ってはるんの見たの
初めてどしたわ

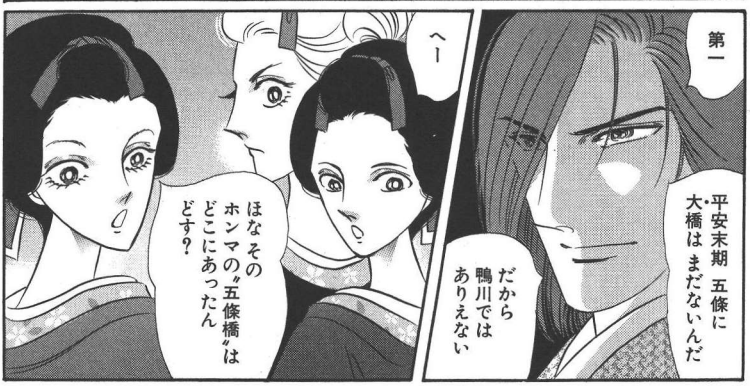

いややなァ
何ゆうて
はるの？
忘れたんか？
唐糸ちゃん
二月の
節分の時も
お姐さん
男装しはら
はったや
ないの！
そやなァ
お舞台では
初めて
やなァ
あ！
そやった
あれは
「お化け」の
お遊び
やった
よって…
旦那さんと一緒に
「をどり」と同じ
牛若丸と弁慶の
扮装で
しかも
旦那さんが
牛若丸で
京の五條の
橋の上
お姐さんが
弁慶の方を
やらはって


小さい男の
弁慶が
仮い薙刀
ふり廻し
ははは
私ら四人が
お囃子の
テープ代りに
牛若丸の
童謡の替唄
生で唄おて
廻ったお花で
ウケまくり
やあっ
えいっ
ぐわん
ぐわん

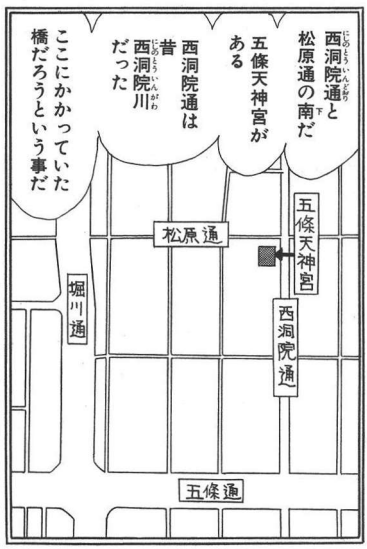

最後にこの白川と巽橋を
鴨川と五條大橋に見たてて
一般観光客のために野外でもう一番
ほしたら集まった観光客にも大ウケで
ワア
おひねりの雨やったやん
楽しかったわァ


約八百年前
牛若丸と武蔵坊弁慶が実際出会った〝五條橋〟は
おそらくこんなものだったろうよ
巽橋
白川


以前の京は市街の縦横に堀が多くあった
それにかかっていた五條の橋の一ツだろうといわれてる
そやかて旦那さん
TVや小説やと五條大橋で描かれてますやん
たもとには石像もあるし
旦那さん？
恵兄はん？


第一
平安末期 五條に大橋はまだないんだ
だから鴨川ではありえない
へー
ほなそのホンマの〝五條橋〟はどこにあったんどす？


もっとも
牛若と弁慶の
出会いも
真実
五條橋だった
のかは
定かじゃない
「義経記」の
信憑性からいくと
あまり…
なのね…


西洞院通と
松原通の南だ
五條天神宮が
ある
西洞院通は
昔
西洞院川
だった
ここにかかっていた
橋だろうという事だ
五條天神宮
松原通
西洞院通
堀川通
五條通


…
今年もか？
いかにも
な
な
な～
阿ちゃん
吽ちゃん？


ここが五條天神宮？
小っちゃいお社〜
ホンマや〜〜〜〜
歴史は古いぞ
平安京へ遷都の時弘法大師が作ったんだ
約千二百年前だな
……
「橋弁慶」という能がある
牛若丸と弁慶の出会いを扱った作品だが
千本の刀狩りをする弁慶というのが一般的だが
この能は牛若の方が五條橋で千人斬りをしている設定なんだ
牛若丸が!?
源義経が辻斬りを!?

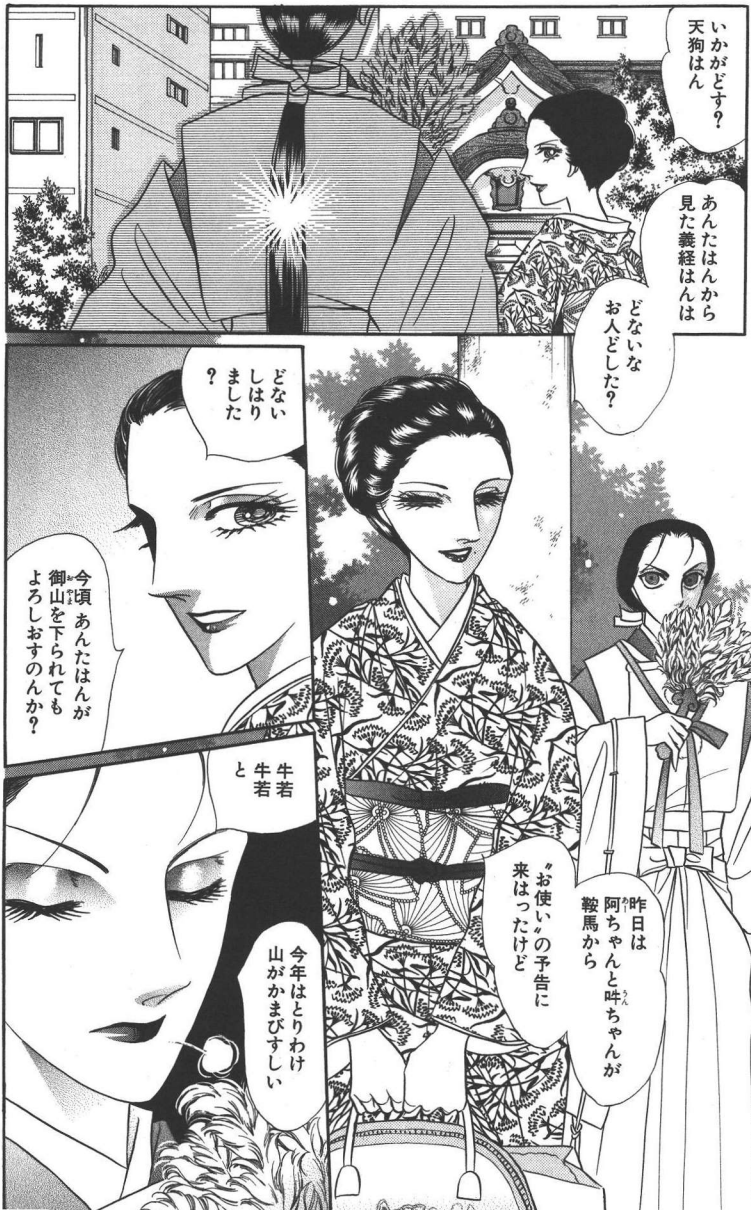

五條天神に
丑の刻詣での
満願の日
弁慶は
この千人斬りの
少年の噂を
聞き
退治して
やろうと
五條橋へ
出かける
牛若は
次の日から
鞍馬寺へ
入るので
今夜限りと
橋へ行き
そして
二人は
対決
牛若丸は
ヒラリヒラリと
身を躱し
小太刀を
奮い
遂に弁慶を
降参させ
主従を
誓う


…とまあ
結果としては伝承と同じなんだが…
なんどすの!?それ!
全然違いますやん!!
源義経ゆうたら日本史上一の薄幸のヒーローどすやろ!?
それやったらかなりの悪タレが余計悪タレになっただけやないですか!

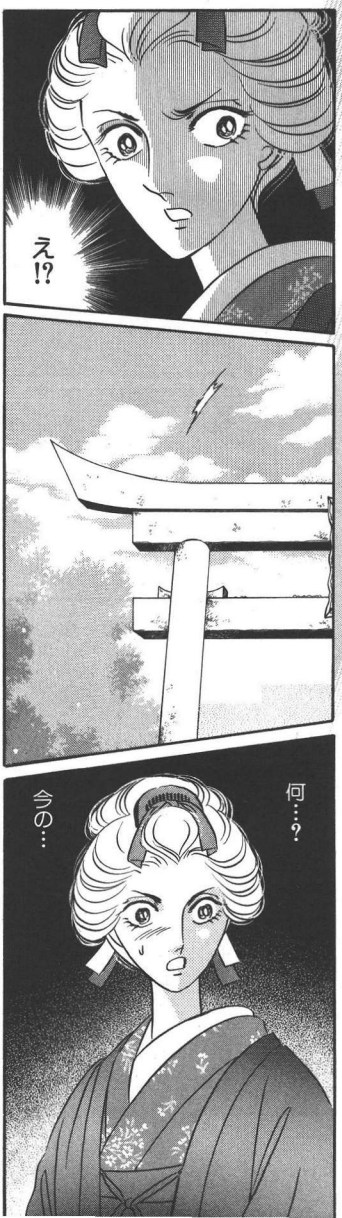

薄幸…ね
武家の棟梁源氏の末弟
…そうだな
赤ン坊の頃父親を殺され
幼くして母親と離されて寺に預けられ
東北に隠れ

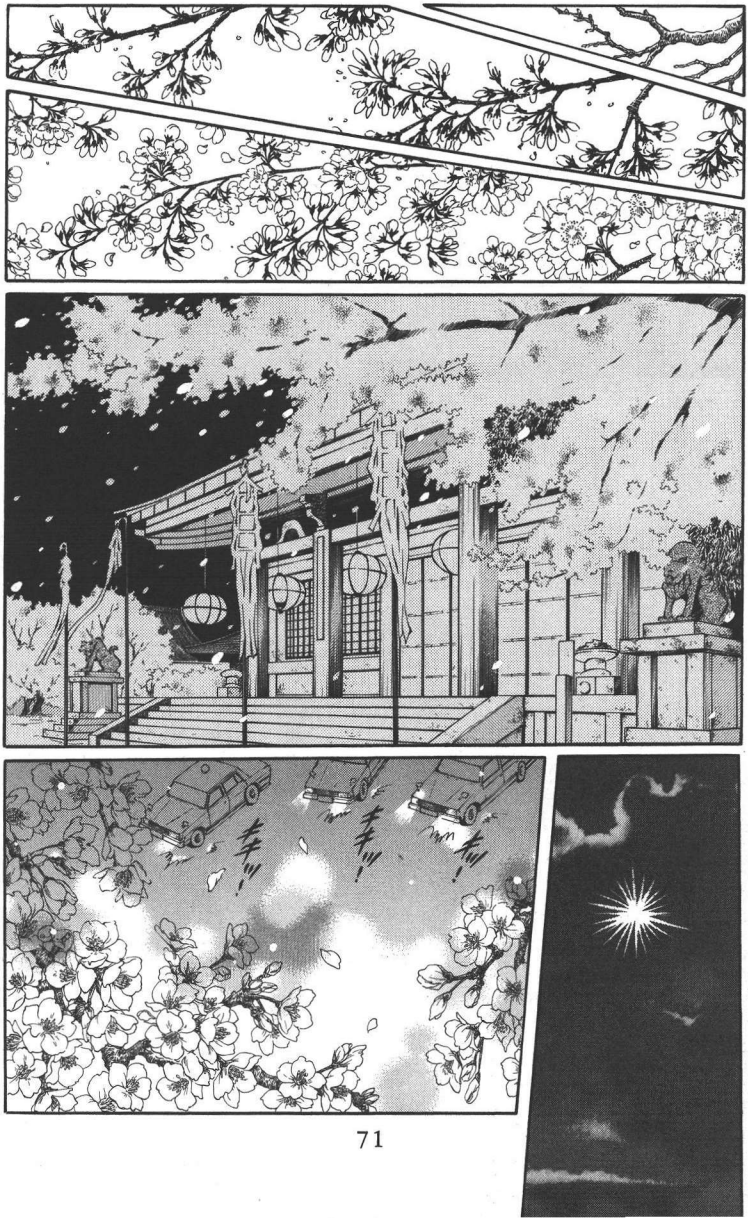

宇治川一ノ谷鵯越え屋島壇ノ浦
輝かしい戦功
都一の白拍子
静御前との恋
成長し源氏のため兄・頼朝のため戦って平家を滅ぼしたのに


その兄に疎まれ
追われ
追い詰められて
栄光からの転落
恋人との別れ
奥州への逃避行
平泉で自刃した
牛若丸
遮那王
源九郎判官義経
「判官贔屓」と言って
日本人は永くこの悲運の英雄を愛して来た
確かに肉親の情愛に縁が薄くてずい分なジェットコースター人生だが…
俺には〝薄幸〟にも〝悲運〟にも思えない
義経の自業自得だ
おとうさん…


いかがどす？
天狗はん
あんたはんから
見た義経はんは
どないな
お人どした？
昨日は
阿(ア)ちゃんと吽(ウン)ちゃんが
鞍馬から
〝お使い〟の予告に
来はったけど
今年はとりわけ
山がかまびすしい
と
牛若
牛若
今頃 あんたはんが
御山(みやま)を下られても
よろしおすのんか？
どない
しはり
ました
？


山でなくともこんな所でもあやつの話をしておるし
プラ
すんまへん
今年はしょうがおへんよって
御山の桜の咲く頃には今年は皆して伺わせてもらいますさかい
他のお二柱にもどうぞよろしゅうに
誰もおらんのに何一人でしゃべって
胡蝶さんお姐さん？


え!?
何…?
今の…
承知
楽しみに
待っておるぞ
胡蝶よ
気ィつけて
お戻りやす


キキ!!!
キキ!!!
キキ!!!


うわおっ
最高の夜桜見物だわ！
市街の桜はもう散ったのに
ここは満開ね!!
おっさっけ♡
ビール
焼酎
大吟醸
お酒♡
カラ
カラ
おべんとおべんと♡
お寿司♡
おにぎり♡
サンドウィッチ♡
なによ!?恵慈
その大荷物は！
……
料理だよ…


お料理なら舞妓ちゃん達が持ってるので充分でしょ？
なんでそんなに作ったのよ!?
今夜はお茶屋お休みやよって
「をどり」がすんだらお花見行こて
朝からずっと台所におったんえ
…しょーがないんだよ
この山にゃ大喰らいが二匹もいて…
兄はん私が一ツ持ちますわ
いいから結花
迎えが来てるぞ
胡蝶
阿ちゃん吽ちゃん
なあ～～～
トラ猫？
待って二匹とも
こっちこっち
なあ
なあ

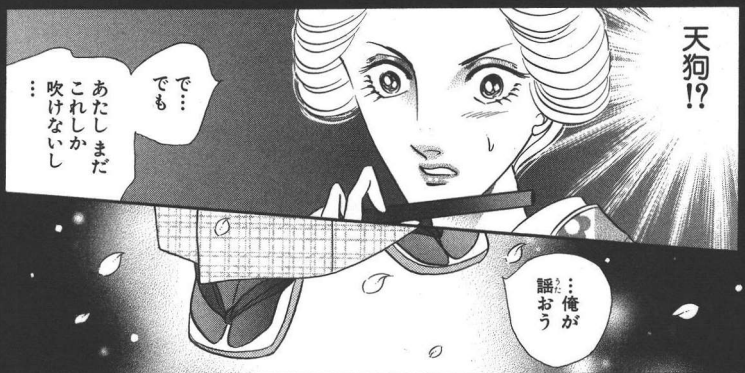

うわっ
なんや!?
ここ!
すごーい
……
きれーい
周囲にさつきまであんなにいた
花見客がいない!?


…胡蝶
皆はん
ご機嫌よお
ええ夜
どすなァ…
ヘェ
今年も寄らして
もらいました
よく来た
胡蝶
ようこそ
胡蝶
来たか
胡蝶


さあれ
一差し
これさ
一差し
いざや
一差し
舞い奉れ
ヘェ
今すぐに
太郎ちゃん
笛持って
来てるやろ?
は…
はい
吹いて
くれるか?
お姐さん
?
まさか
こんな所で
舞うの!?


いいけど…
太郎ちゃん！
それ
あかん!!
他のに
してんか！
え!?
だって
ここって
鞍馬山でしょ
？
すまぬな
清白屋
なおくん♡


だったら
今年の「をどり」の
牛若丸の演目は
…
ふさわしいと
思うんどすけど
牛若丸は
なァ
天狗はんが
もう
食傷気味なんやて


天狗!?
…俺が
謡おう
で…
でも
あたしまだ
これしか
吹けないし
…


おおきに
恵兄はん
お願い
しますわ
タロ
ちゃん
旦那
さん
…
ホラ
太郎
そっちで
みんなと一緒に
花見してろ

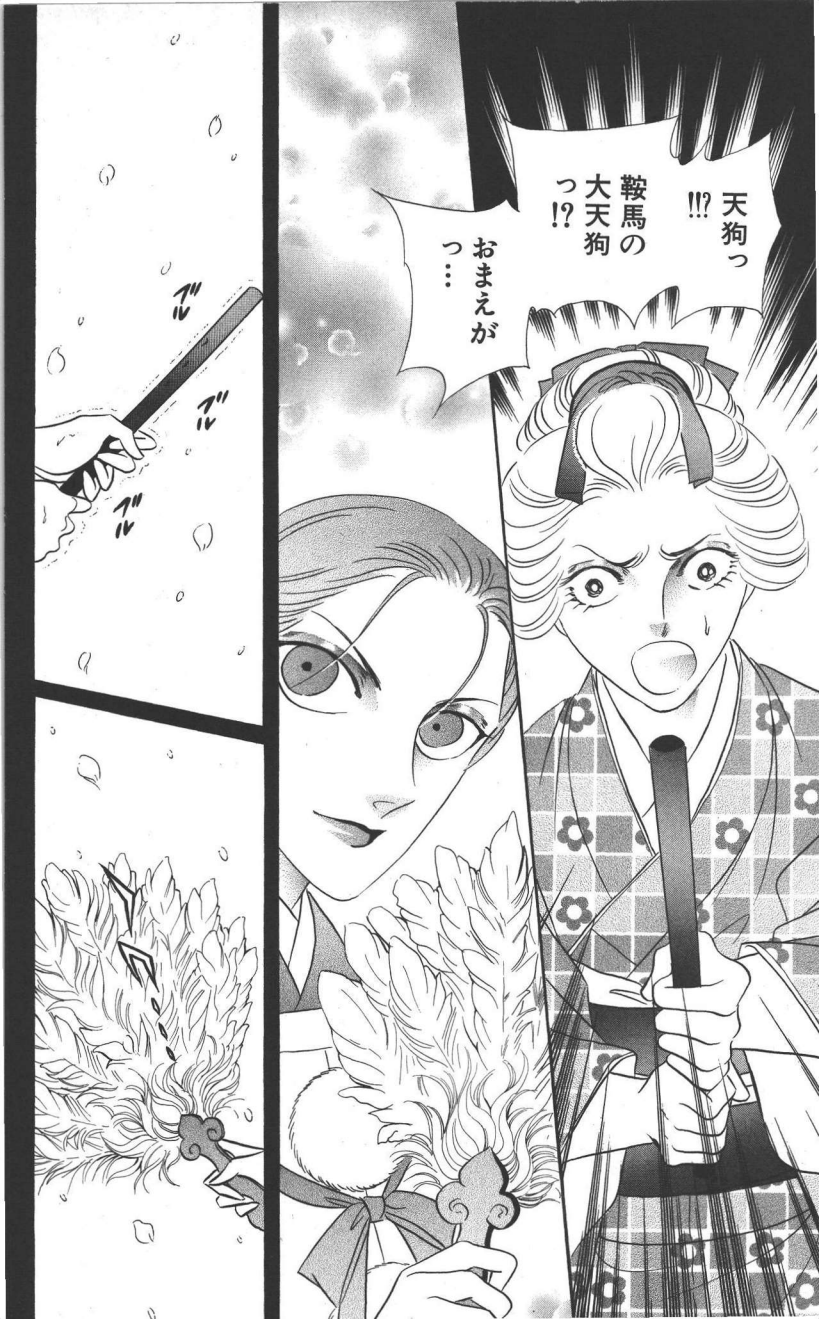

ほな
兄はん
何に
しまひょか?
…
そうだな
所は
違えど
桜(はな)に
ちなんで
…
見もせぬ
人や
花の友
見もせぬ
人や
「吉野夫人」
花の友
桜の名所
吉野山の
花の嶺
知るも
知らぬも
花の蔭に
相宿りして
諸人の
何時(いつ)しか馴(な)れて
花衣の


袖ふれて
木の下に
立ち寄り
いざや
眺めん
げにや花の下に
…お姐さんは
あたしの
笛じゃなくても
舞える
誰の謡でも
舞える
一人でも
舞える
帰らんことを
忘るるは


あたしが
お姐さんを
舞わせてる
なんて…
だが胡蝶は
決して〝一人〟で
舞っておるではないぞ
かの者は
よく存知ておる故な
場があって
周囲の人間の
助けがあってこそ
己れの才が
生きるのだと
いざいざ馴れて
眺めん
わっ
馴れ馴れ初めて
眺めん
美景に因りて
花心
え!?
なんて
思い上がった
錯覚だろう


したが
あやつは
違った
兄の立場を
顧みず
周囲の
諫言も容れず
己れの功績に
驕り
破滅した
自明の理だ
…この子！
五條の
天神様で
空に跳んで
消えた子だ
!!
確かに我は
あやつに
兵法の奥義を
授け
平家討伐を
助したが
真に
悟すべきは
何であったか…
遮那王
よ…
…今更の
繰り言だが


誰も気付かない!!
誰にも見えてない!?
キャラ
キャラ
キャラ
…この子
まさか
まさか
…
天神様で旦那さんが言っていたもう二ツのお能の話
「橋弁慶」の他にも義経を扱った能はいくつかあるが
鞍馬山に入った牛若丸は
そこで山の大天狗に武芸を教えてもらい
平家を滅ぼす未来を約束される
これが「鞍馬天狗」だ


天狗っ!!?
鞍馬の大天狗っ!?
おまえがっ…
ブル
ブル
ブル



―龍笛―／おわり

河惚的日々是好日

きれいな
モノが
好きです
繊細で
華麗で



創造性と
意外性が
あれば
尚嬉しい

でも一番
肝心なのは
実用品で
あること

洋の東西を
問わず
人間の
手による
作品

時間と
手間を
かけ
技術を
駆使した
職人芸

がつ



職人さん達の
努力の結晶は
概して高価!!

だからって
諦める気は
全くないので

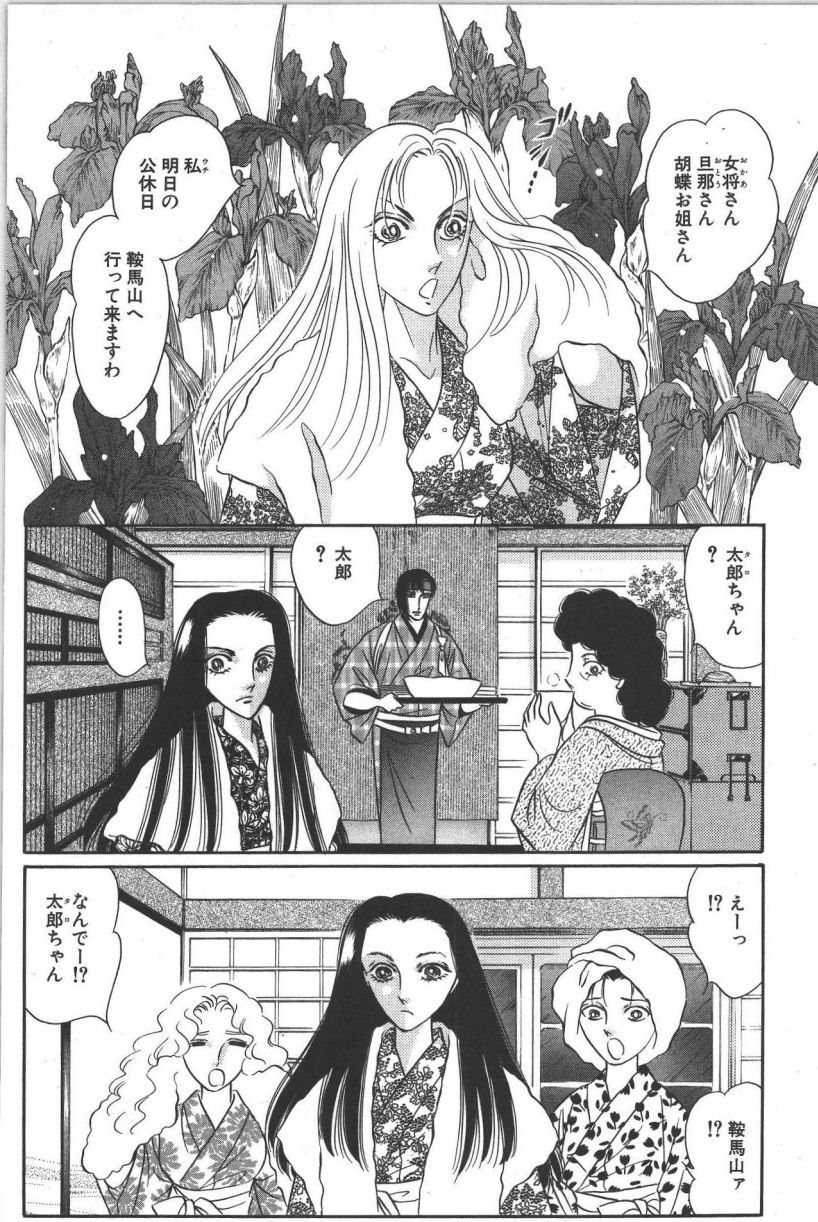


これも
楽しみ♡


「天狗」
想像上の怪物
深山に棲み
鼻が高く
顔が赤く
羽で自由に
空を飛ぶという
魔であり
怪であり
神であり
日本書紀には
舒明天皇の条の九年（六三七）
大きな星が天を流れ
雷に似た大音響がした
僧・旻が言うのは
「あれは流星にあらず
天狗なり」とある
―闇魔天狗―

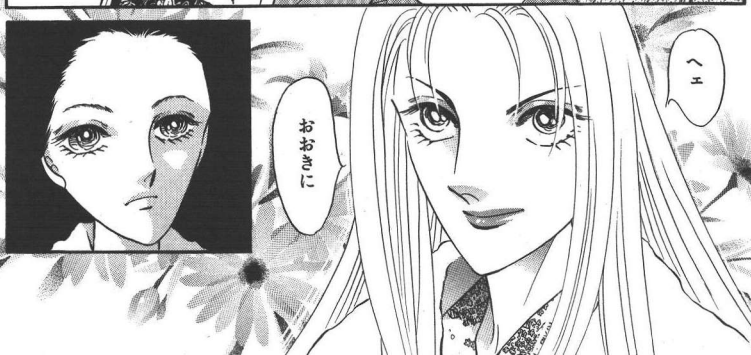



―闇魔天狗(くらまてんぐ)―


女将さん
旦那さん
胡蝶お姐さん
ゴゴゴ…
私
明日の
公休日
鞍馬山へ
行って来ますわ
太郎ちゃん
？
太郎
？
……
えーっ
!?
鞍馬山ァ
!?
なんでー!?
太郎ちゃん


都をどりとゴールテン・ウィークが終わったら
お休みにはみんなして映画へ行こて
約束したやないの
ご免ね――
三人で楽しんで来てねー
鞍馬山なん先月お花見に行ったやないの
又行くなら紅葉の季節にしよーよぉ

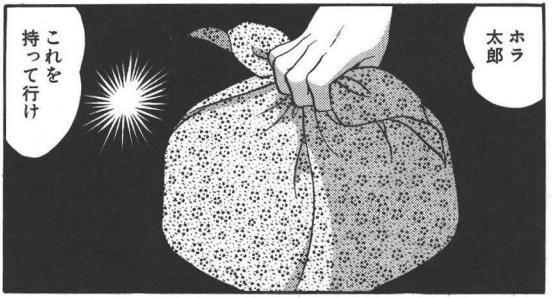

しんどいえあの御山は
奥の院まで行くつもりなら動き易い服で行けよ
革靴はやめておけ
陽焼けせえへんよぅ
お帽子忘れんようにな

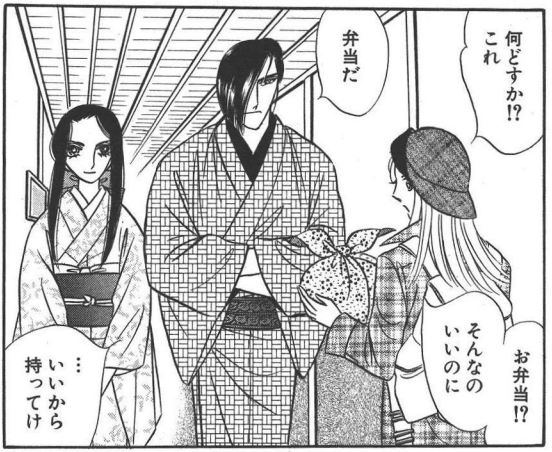

へェ
おおきに


…この笛
先月
鞍馬山で
突然
空間から
現れた少年
彼が持っていた
羽根扇が
あたしの
この笛に
触れてから


あたしの吹く笛が変わったって皆言う
すごくよくなった…って
そりゃ上手くなってほめられて文句を言う筋合いじゃないけど
でもそれはもしかしたら……


よいしょ…っと
ドドド
よし！







源義経の日本史上への公式デビューは寿永3年(1184)1月の宇治川合戦である。

これ以前の経歴は、公的には明確ではない。

鞍馬山に入ったまでは確からしい。以降、どうやって山を逃れて、奥州平泉へ辿り着き、藤原氏の知遇を得、兄・頼朝と対面したのかは全て伝説、伝承、小説の世界となる。

文治5年(1189)衣川での自害以後も、北海道から中国大陸のモンゴルに逃れ、チンギスカンになったなどは、その極め付けと言える。


はあっ!?
買収?
誰を!?
挨拶?
誰に!?
太郎ちゃんっ
待って——っ
私も一緒に行く!
鞍馬に連れてったげる!
唐糸ちゃん!?


連れてって…って
叡山電鉄の鞍馬線に乗って
終点で降りればすぐ仁王門だってガイドブックに…
私以前にあの山へ登ったことあるよって境内を案内したげる
グズグズせんと！
さ！はよ行こ！
か…唐糸ちゃん？
気ィつけてな二人して御山の霊気を
ぎょうさんもろて来るとええわ
お姉さん？
え!?
霊気!?
な…何？
それ


鞍馬山は
霊山や
六五〇万年前に
金星から天降らはった
護法魔王尊はんと
護法魔王尊…？


この京に
都が移る以前から
祀られてはった
毘沙門天はんと
大慈大悲の菩薩
千手観世音はんが
いてはる
大自然の力と
人間の信仰が
一体になった
凄い霊場なんえ
…わ!
昼間見ると
何か感じが違う
威圧感が
ずい分来る様な
…
参道の階段の
勾配のせいかな?


朱塗りの
仁王門…カア
総本山鞍馬寺
確かに大きい
山門だけど
タロちゃん
足速い
大きさだけで
比べれば
祇園の近所の
知恩院さんの
山門の方が
上だな
なのに
…うっ
山門を
くぐったら
空気が変わった
…？
タロちゃん
タロちゃん


な…何？
唐糸ちゃん
多宝塔まで
ケーブルカーで
行こ
速くて
便利やし
残りの
金堂までの
道も
楽やよって
本殿まで
行くのには
それしか
ないの？
だって
一キロくらい
坂道を
登らな
ならんもん
！
私
いやや
!!
つづら折りの
道やさかい
なかなか
辿り着けんし
…
できれば
歩いて
ゆかれる方が
よろしいですよ
え!?


どうぞ
歩いて
山の息吹に
直に触れて
どうか
この山の
自然を 空間を
宇宙を
感じて下さい
ぜひ
そうして
下さい
は…
はい
…
なんか
…
ヘェ


ぜひ
そうします
ありがとう
ございました
自然に
頭が下がる
誰だろう
？
この人は
えろう
すんまへん
どした
おおきに
山のお坊様には
見えない
だからって
普通の人じゃ
絶対…
…
いないっ
二人して
夢見たんじゃ
ないよね…？
そないな
アホな…
なんで
!?
たった今
目の前に
っ…
消えた!?

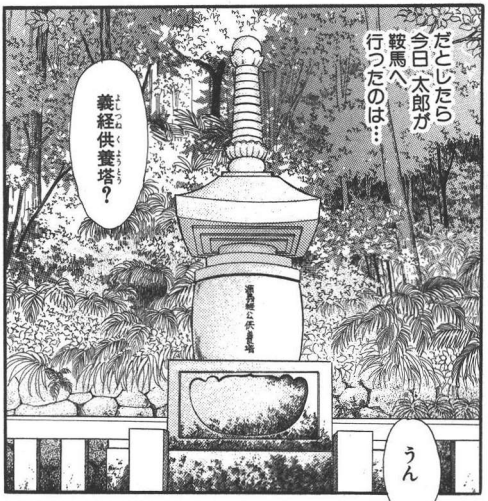

幻？
お化け？
一体これは…
妖怪？
それとも…
…え？
一体いつの間に知らせたんだ？
恵兄ぃん？
鞍馬の山にだよ
今回は例のトラ猫どもが来てた訳でもないのに


簡単どす
鞍馬の御山の
三尊天はんのお一柱
護法魔王尊はんは
この地球の霊王で
〝力〟の象徴どすさかい
どこから
呼ばわらはっても
気付かはるはずや
よって
そうした
だけどす
したら自然
他のお二柱にも
伝わりますやろ
はい
反対向いて
兄はん
そんなコトを
疑いもせず
実行して
実現
できるのは
おまえ
くらいだ
結花
鞍馬は
特別なんだ
あれが
いるから
…
護法魔王尊
…か
兄はん?

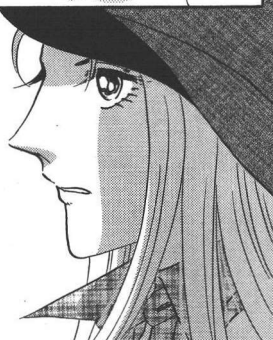

日本全国
毘沙門天を祀る寺社は山とある
千手観音を祀る寺社も数えきれない
まるでお伽噺だ
こんな信仰は世界中のどこにもない
だが魔王尊は鞍馬にしかいない
はるか六五〇万年の昔人類発生の一五〇万年も以前
大宇宙の大霊が地球の霊王として破邪顕正のため降臨したなんて


鞍馬山が
強力な霊場
だってのは
確かだろう
特に魔王殿のある
奥の院一帯は
日本有数の
盤座なのだそうだ
つまり
神の降りる
場所だな
だから仏教が入る
以前からの人々の
崇拝の対象で
山中に満ちた霊力と
活力を得ようと
昔も今も参拝者や
修行者が…
そないな
むつかしいコト
私にはよお
わからしまへん
けど
信じるお人は
信じはる
信じられへん
お人は
信じへん
あ！
スキいのめっけ
要はそれで
よろしおすの
やろ？
……
…
は…
はは…
ははははっ
そうだ
その通りだ
ひゃっ


もうっ
いきなり
危ないやないの
おまえの
言う通りだ
結花
すまん
すまん
信じる
信じないは
その人間次第
ホラ
替わろう
正しく
宗教の
真理だな
どんなに
ありがたい
悟しも
本人が納得
できなければ
意味はない
動くなよ
ん〜
先月
鞍馬へ行って
以来
太郎の
笛が
変わったのは
俺にもわかった



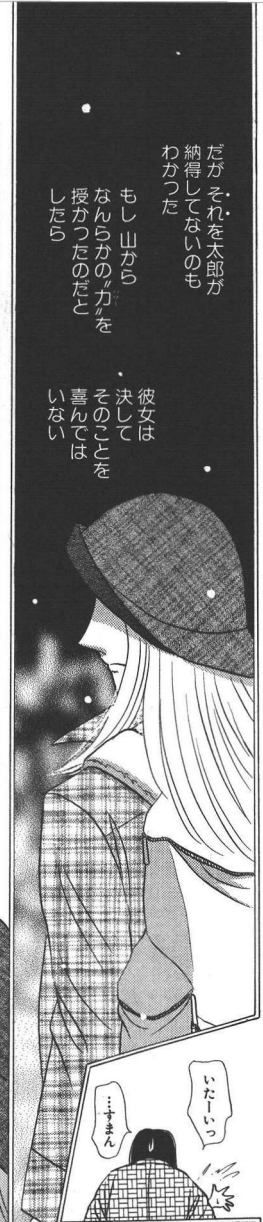




だが それを太郎が
納得してないのも
わかった

もし 山から
なんらかの〝力〟を
授かったのだと
したら

彼女は
決して
そのことを
喜んではいない



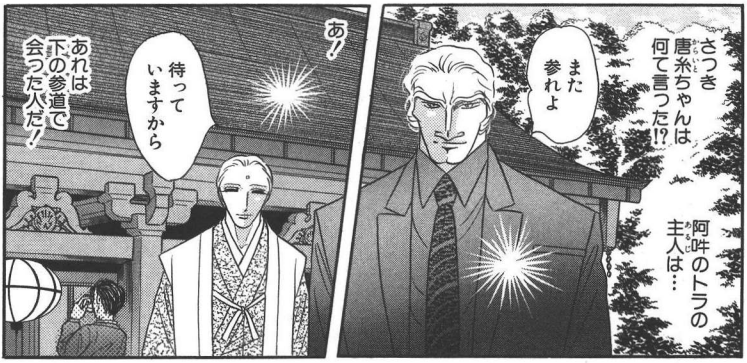

通つて…
ここが九十九折り？
ほうや 清少納言の枕草子にも出てるのえ
「遠くて近きもの」て
この上が本殿の金堂や
何度も火事に会ってるよって
建物は昭和にできた鉄筋コンクリート造りやけど
…変な狛犬
シマ模様が付いてる
それは犬やあらへん 虎や
なんで虎!?
虎は御本尊の毘沙門天のお使いや
そやから鞍馬山では「阿吽の虎」


阿吽の虎
対の虎
二匹の…
暗くて内殿がよく見えないなァ
真ン中が毘沙門天
左右が千手観音と護法魔王尊のはずやけど…
護法魔王尊てどんな仏像なの？
え？
さあ？
私も見たことないよって…
魔王尊の像はない
だが絵姿が一枚ある


魔王尊は
変幻自在の
霊体だ
確たる
姿はない
…何!?
昔
狩野法眼元信なる
絵師が
奥の院にて
必死の祈願により
霊力を受け
この男は!
その姿を
描き上げた
これが
この世にある
唯一の姿だ
土足厳禁
それは現在
この金堂の
最奥に
奉安され
弁慶みたいな
大男!!
六十年に一度
丙寅の年に
開かれる
タ
タロちゃん
…
…
じゃあ
貴方は
それを
見たことが
あるんですか?
…
そうだな


どんな姿なんです？魔王尊は
…少年だ 十六歳の
十六歳の少年(こども)!?
…それって
あの子――!?


行くがよい
奥の院へ
我が手の者が案内する故
なぉ〜ん
二匹のトラ猫
二匹のトラ
対のトラ
阿吽の…
あんた達…
先月の…


さっき唐糸ちゃんは何て言った!?
阿吽のトラの主人は…
また参れよ
あ!
待っていますから
あれは下の参道で会った人だ!


あ…ありがとうございました
この人達は…
まさか…


うっわ
…
あたし
もしかして
とんでもない場所へ
来ちゃったかも!?
もし 本当に
あの子が
護法魔王尊
なのだとしたら
…
どうやって


こんより
雲の院へ
なあっ
あの先が…
私この先へは行ったことないの
なんやえろう暗おてイヤやったん
案内ありがとねあんた達ご苦労さん
な♡
な♡
ゴロ
ゴロ


ひゃっ!?
な〜ん
な何？
あ！そーか


はい
どうぞ
なほ♡
なお〜ん♡
ホラ！
唐糸ちゃんも
食べて！
タロちゃん
？
腹が減っては
ナントヤラ！
相手が
どんな化物だろうと
負けるもんか!!
てき？
？
バケモノ？
行くぞっ


…ぐっ
空気が段違いに重くなった!!
…凄い!
ホントに異空間だ!!
…いややなァ
昼間なのにこないに暗いんは
気味悪うてかなんわ
なんやお隣の貴船より暗いのが濃い気がせえへん?タロちゃん
それにえろう寒いし…


「義経公息継ぎの水」？
東光坊から金堂を経て奥の院へ
夜な夜な兵法修行に通った牛若丸が
その途中のどを潤したと伝えられる清水？
これが!?
昼だってこんなに暗いのに
夜なら本当に真の闇だわ
月の光も樹々に遮られて届かないだろう
ここを元服前の十歳前後の子供が歩いて通った!?
毎晩!?
一人で!?
なんてトコだ
これじゃ本当に何が出てきたっておかしくないじゃない
灯りがあったって夜なんか怖くて一歩も進めないよ
いくら親の仇の平氏を倒すための武術訓練だからって
牛若丸ってばすごい肝っ玉！

闇に踏み出す勇気

他の誰でもない自分との闘い

道を外せばいつ谷に転げ落ちるかもしれない恐怖

それを一ツ一ツ克服してこそ

心願は成就する

何？あれは

目の錯覚でなけりゃナニーだよね付いて来いってか？

今更もう何が現れたって驚かないけど

源義経公首化石

左 僧正


消えた
つ
ここは
…？
ううん
闇に
溶けた
さっき
折れた道の
標識やと
貴船との
間にある
僧正ヶ谷って
所や
牛若丸は
ここで御山の
天狗に武芸を
教えてもうた
いわれてる…
…呼んで
みようか？
天狗が
出るかも
ここが
あかんっ
やめっ
たださえ
どんどん
暗おなって
怖おて
しょうが
ないのンに
この上 そんなモン
いらへん


うん
きっと
ただ呼んだだけじゃ
出て来てくれないと
思うよ
タロちゃん
その笛…
お願いが
あるんだけど
いいかな？
唐糸ちゃん
な…
何？
私 今から
笛を吹くから
合わせて
舞って欲しいの
ここで
!?
私の笛だけじゃ
心もとないよって
この
格好で!?
笛の師匠が
言ってたけど
元々
「御神楽」
って
つまり
音楽と
舞踏だね
神様に
捧げるモノ
なんだって
神はんに
届けば上々
ホンマに
呼べたら
名人や
もっと
上は…


だからセットならなんとか応えてくれるかな…と
応えるって誰や!?
誰やっ!!?
…護法魔王尊
もしくは鞍馬の大天狗
脱兎
ヌー
ヌー
考えてみてよ
神を呼べたらすごくない?
私らの芸で


レオ
ヤツ
いま


タ…
タロちゃん
出たかな
あそこに
なんかおる
う…
うん
…違う?
別人?
人間?

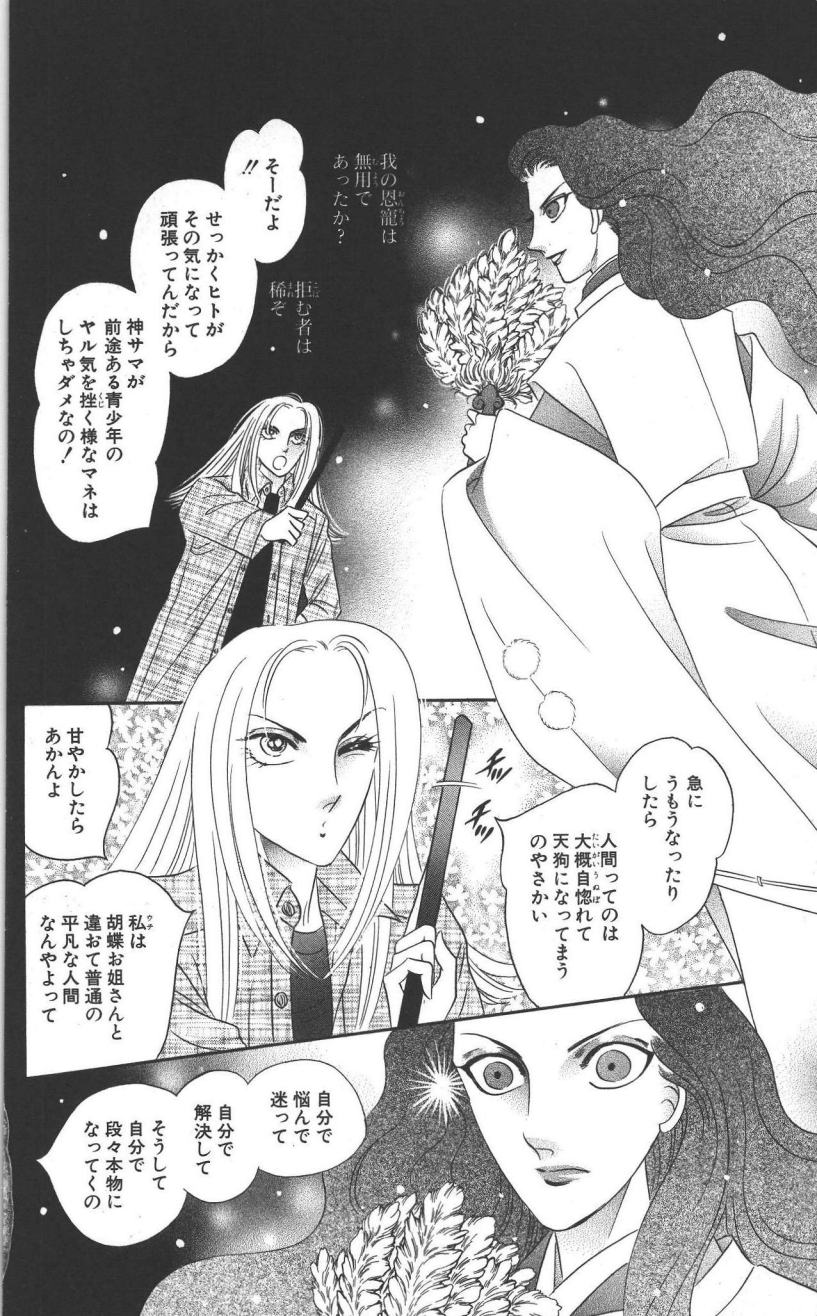

高校生くらいの男の子？
…君達は…？
…貴方こそ
そんな所で何してるの？
見てわからないか？居合だ
剣術の稽古だよ
居合？
鞍馬本流居合道という剣の流派だ
毎年九月十五日の義経祭りに奉納や試合がある
義経…
牛若丸にあやかってここで練習してるの？
まあそうかな
天狗は…出て来てくれた？
まさか！

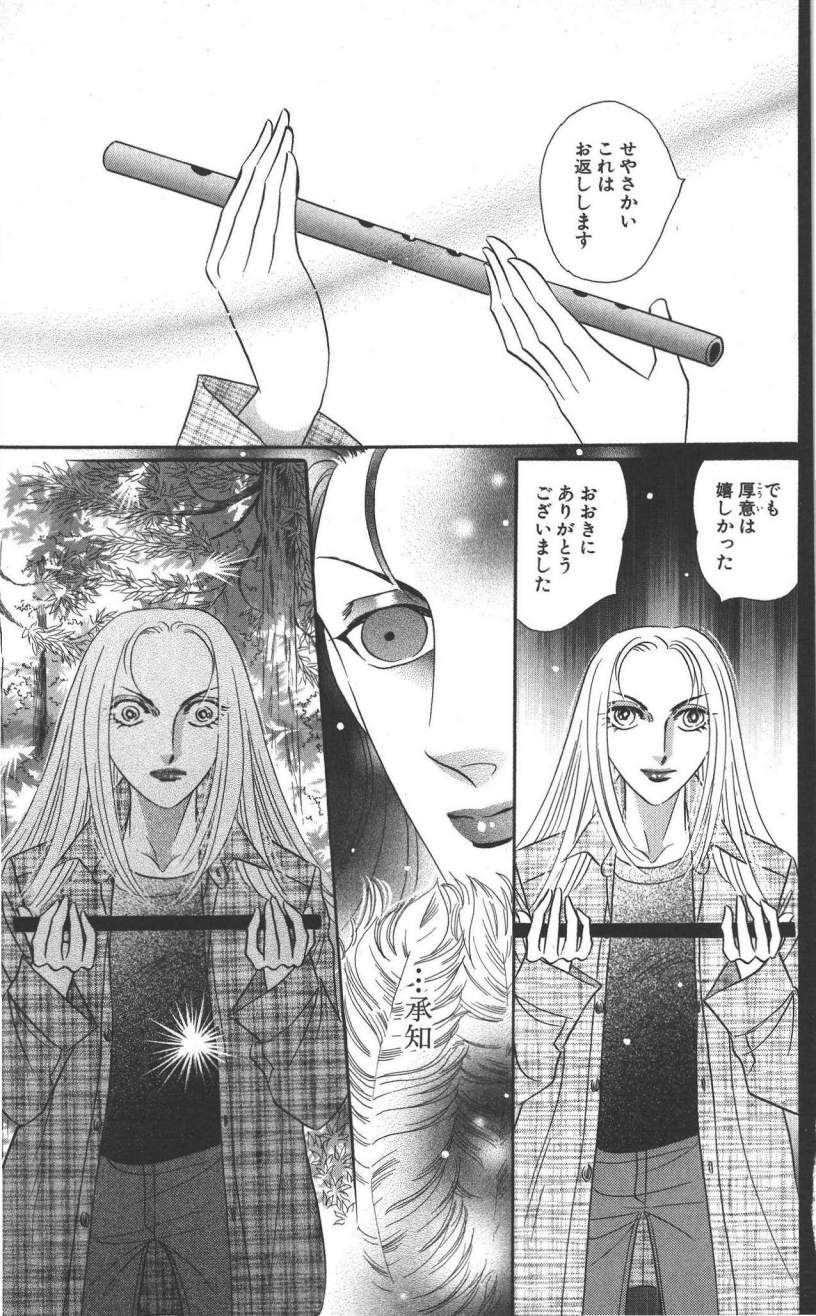

…でも
そうだな
もし山の
大天狗に
会えたなら
義経公が
「六韜三略」を
授かった様に
俺も
剣法の奥義を
授けてもらおう
そうすれば
日本一の剣士も
夢じゃない
…
そんなので
日本一になって
本当に嬉しいの
？
タロちゃん
？
何
!?
なぜ
天狗の〝力〟なんか
要るの？
そんな自分の
実力以外の力で
勝って
本当に
「勝った」と
胸を張れるの
!?
貴方
何のために
練習してるの!?

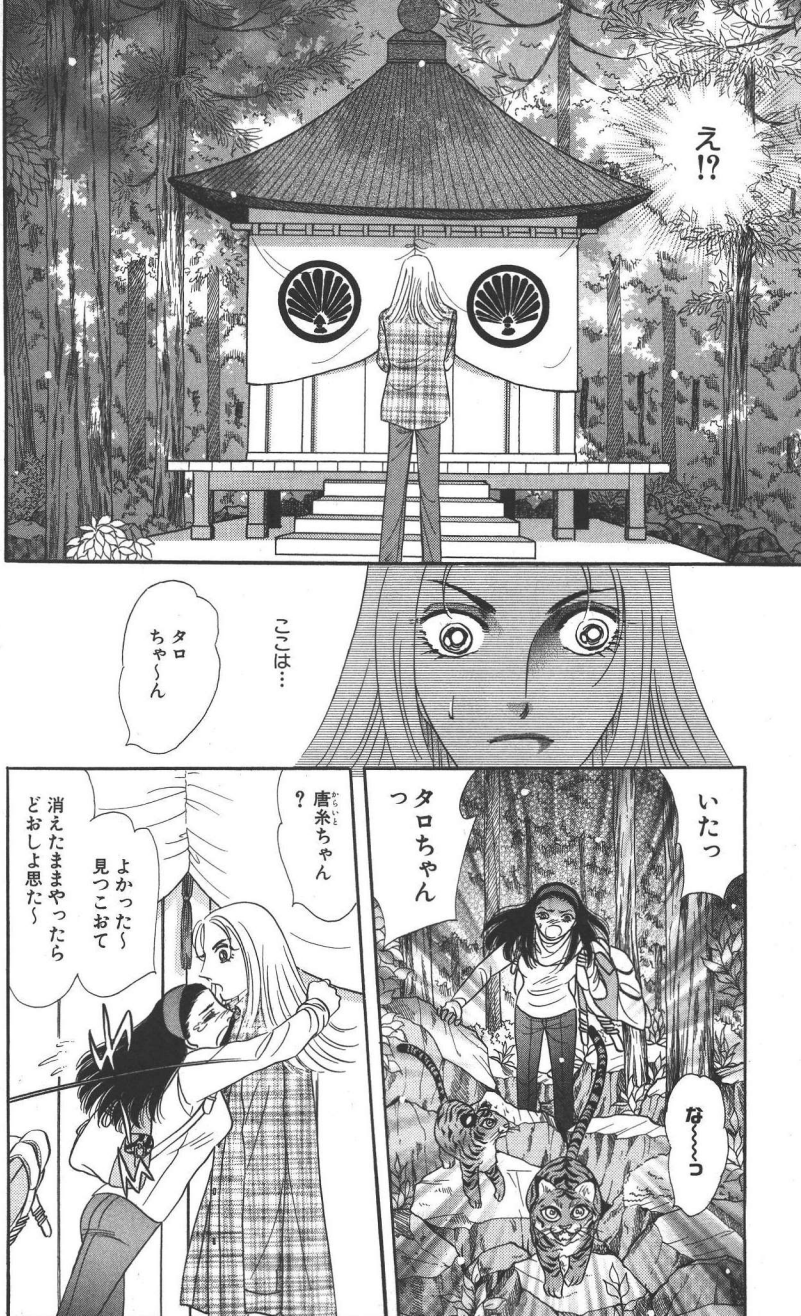

あたしは陸上選手だった
〇・〇一秒を縮めるために毎日トレーニングした
確かにあたしには元々走る才能があったのかもしれないけど
あの練習がなければその才能は活かせなかった
だからあたしは笛だって
ちゃんと努力すればきっと誰よりうまくなれる!!
師匠や旦那さんに言わせればあたしは他人より上達できる可能性が大きいらしい
あたしは必ずなれる!
たとえ何年 何十年かかったっていい!
貴方達をあたしの吹く笛で
呼び出せる様な奏者に!!

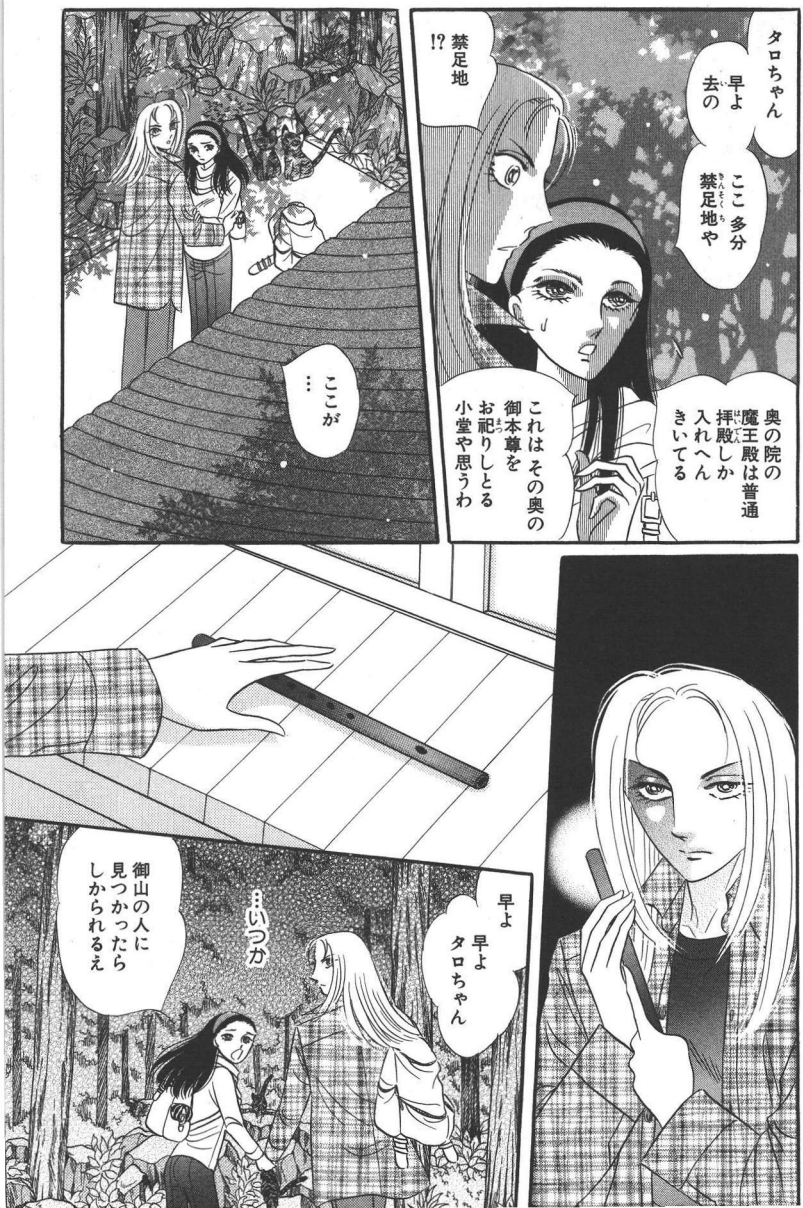

それまで
邪魔しないで
護法魔王尊
タロちゃん
!?
どこっ!?
闇に
呑まれた!?
タロちゃん
っ!!
な…
タ…
タロ
う…わ
闇が
広がって来る
!


よお
わかったの
おちゃめな
御本尊様達だわ
まったく
…まあね
奥の院に来るまでに
二度も同じ目に
会ってるからね
いい加減
手は読めたわ
ましてや
奥の院は貴方の
本拠地だそうだし


我の恩寵は無用であったか？
そーだよ!!
せっかくヒトがその気になって頑張ってんだから
神サマが前途ある青少年のヤル気を挫く様なマネはしちゃダメなの！
拒む者は稀そ
急にうもうなったりしたら
人間ってのは大概自惚れて天狗になってまうのやさかい
甘やかしたらあかんよ
私は胡蝶お姐さんと違おて普通の平凡な人間なんやよって
自分で悩んで迷って
自分で解決して
そうして自分で段々本物になってくの


せやさかい
これは
お返しします
でも
厚意(こうい)は
嬉しかった
おおきに
ありがとう
ございました
…承知


え!?
ここは…
タロ
ちゃ〜ん
いたっ
タロちゃん
っ
な〜〜こ
唐糸(からいと)ちゃん
?
よかった〜
見つこおて
消えたままやったら
どおしよ思た〜


タロちゃん
早よ去の
ここ多分禁足地や
禁足地!?
奥の院の魔王殿は普通拝殿しか入れへんきいてる
これはその奥の御本尊をお祀りしとる小堂や思うわ
ここが…
早よ
早よタロちゃん
…いつか
御山の人に見つかったらしかられるえ


いつか必ず
その笛
受け取りに
来るよ
またね
天狗様
あたしが
胡蝶お姐さん
みたいに
神様の方から
会いに来てくれる
くらいの笛が
吹ける様になったら
本当に
そう
なれたら…
承知…

一闇魔天狗一／おわり


夏祭り
なつまつり

祇園会の

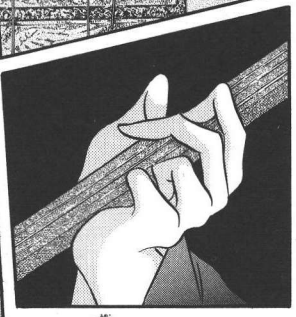
コンコンチキチン

祭り
見んとへ

コンコンチキチン

扇売り

足袋や
烏帽子や
商いの



※平成17年「都をどり」より

―夏祭り―




桂より
鮎釣り遡ぶ・
鵜飼女は
木の丸桶を
担ぎ来せ
…あ
北の方より
大原女の
黒木めされよ
炭かわせ
恵兄はんの
三味線やわ
え?
あ!
白き手甲に
紺がすり
ホンマや
春秋の
花こそ町家の
色どりと
そやなァ
花を
売り来る
白川女
こないな
賑わいの中
お姐さん
よぉ
わからはる
なァ
凄いわァ



7月16日の宵山の夕方から、各町内に止めた山鉾の駒形提灯に灯が入り、祇園囃子が流れ始める頃、中京の室町通や新町通などでは道に面した町家の商家で「店の間」を開け放って、屏風や秘蔵の美術品が公開される。

これらの品は、普段は各家の蔵の中にしまわれているか、美術館などに保管をかねて、貸し出されていたりする。(国宝もザラにある)

2005.9.15

河原谷


夏の宵
都に栄えし
商売の
歴史色どる
町家筋
今は昔の
京の町…
お見事
お見事
110キ
110キ
110キ


相変わらず
玄人裸足だな
恵慈
お茶屋の
亭主より
いっそ
幇間で
いったら
どうだ？
真広！


祇園祭りの
宵山の宴に
客ばかりに
余興させて
ないで
主人も
やれよ
ムチャ
言うな
おまえみたく
粋にできる
もんか


おまえには
あれが
あるだろう
合わせて
打って
やるから


……繋ぎだぞ
胡蝶や舞妓達が着くまでの


ほお
剣舞
橘正屋はんは
京八流の達人や
きいとりましたけど…
居合や
剣馬流や
そうや
国体や
全日本で
優勝かて
してはるえ


今度は鼓や
いやいや
僕は二人とも子供の頃から知っとりますけどな
あの二人はもっと以前からの友達どすのや
二人とも男前やし
絵になるえ
男のロマンやな♡
おお♡「宿命のらいばる」ゆうヤツか!?
清白屋はんとは同級なんやてなア
学校やずっと勉強も運動も競い合っとったそうやで


えろうな乱調子やけど…
兄はん何しはってんやろ？
祇園町のお茶屋と室町の染屋
この二つの町の結びつきは古くて強い
又世の衣装の流行を作って来たんは常に役者や花柳界の（芸能人）者や
妓達は染屋呉服屋の動く広告塔やった
数百年もの間祇園の妓は室町で染めた衣をまとい室町の旦那衆を客として来た
胡蝶――っ


ひゃあ！
坊ンはん
センセ!?
お久し振り
どすなァ
あんたも
橋正屋へかね
？
ヘェ 清白屋の
みんなして お花に
呼んでもうて
センセも？
おお！
真広に
祇園会の馳走に
なりになァ

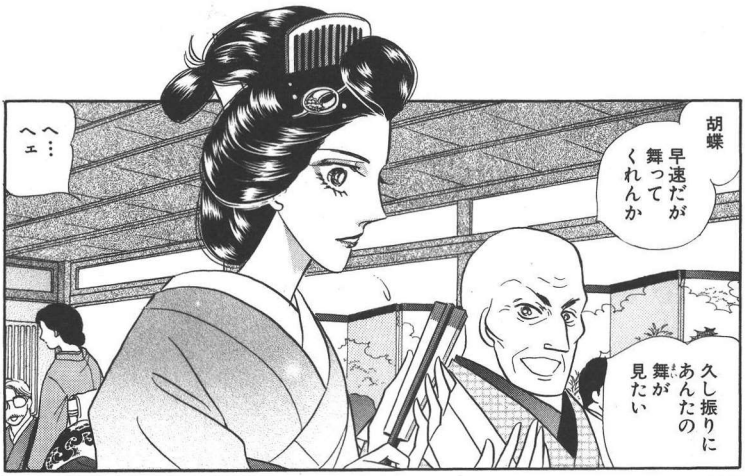

持ちつ
持たれつ
互いが互いの
上得意客どしたのや


……
ところで
中では 何を
やっとるんだ!?
凄い殺気が
しとるぞ！
宴会じゃ
ないのか
!?
…ヘェ

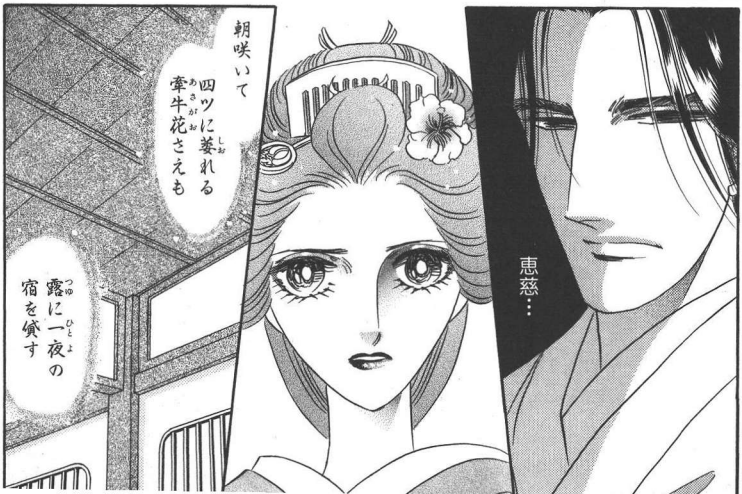



おっと危ない
興に乗って思わず名人の手も滑らはりましたか？
いや！笑いゴトやおへん
気ィつけな！
真剣どすやろ!?
それ!!
……すまない
……いや
恵慈……
なんだ!?
なんだァ!?
男二人で色気のない芸やって
恵慈!?
真広!?
恵兄はん……
橘正屋はん…


草仁師範(そうじんしはん)!?
胡蝶!
さあっ きれいどころが 来たんだから
そんな 不粋(ぶすい)なモンは さっさとしまえ 真広!
今晩はァ
今晩はァ
今晩は
ええ夜 どすなァ
祭り なんだぞ 恵慈!
無礼講(ぶれいこう)に 固いのは ヤメヤメ
もっと陽気に 賑(にぎ)やかくやれい
アホウ どもがっ
……はい 申し訳 ありません…
はあ…


胡蝶
早速だが
舞って
くれんか
久し振りに
あんたの
舞が
見たい
へ…
へェ

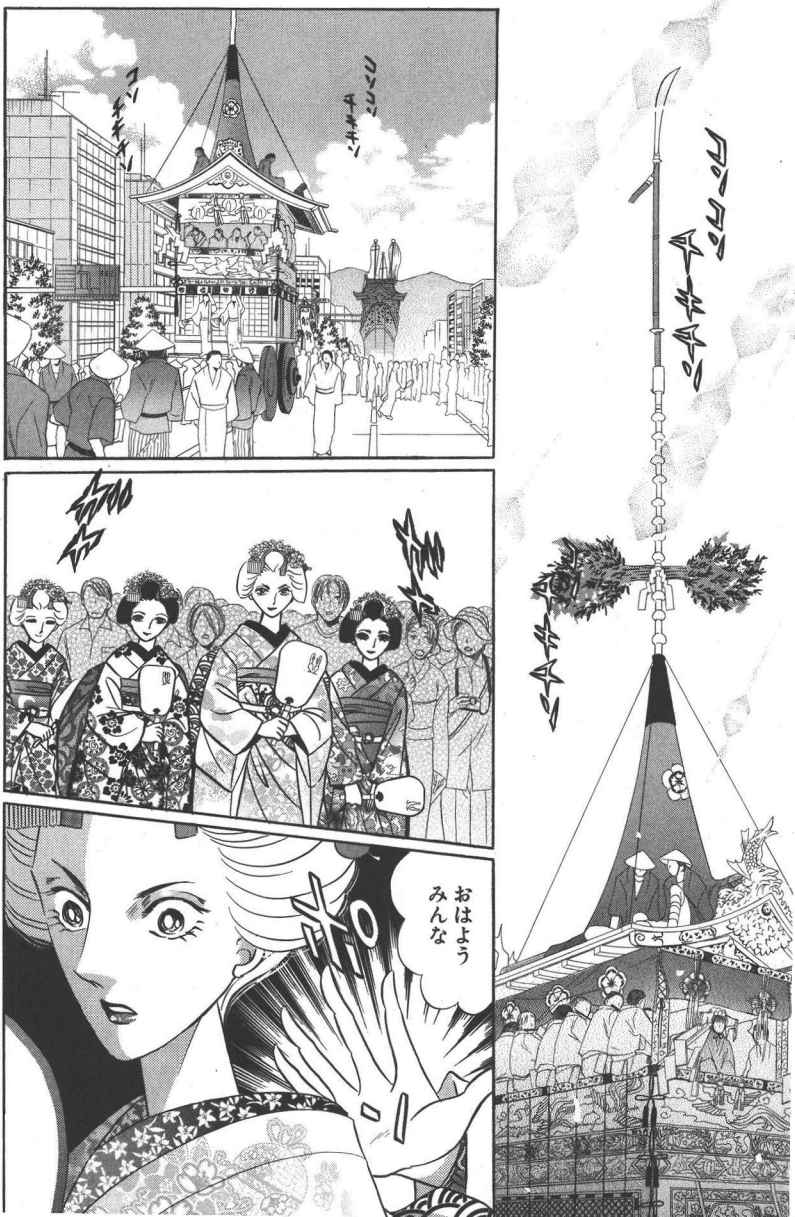

恵慈
真広
おまえ達は
儂の酒の
相手だ
はい
はい
……


恵慈…
朝咲いて
四ツに萎れる
牽牛花さえも
露に一夜の
宿を貸す


蚊帳の寝姿
美ましいか
かつら男が
来て覗く
いや
美しいのォ
天倫さんと
同じくらい
美しいのォ
なァ!?
二人とも
…はい
本当に
いや
眼福
眼福
♡
ばーちゃんと
同じくらいかァ
かわいがられて
撫でさすられて
見捨てられたよ
夏火鉢


真広が
おまえを
嫁に欲しい
とさ
橘正屋はん
が？
どうする？
結花
私が
「橘正屋の
女将」に
なるん
どすか？
悪くない
縁談だぞ
まだまだ
不振の
和服業界
だが
真広は
製造・流通・販売を
一貫させ
価格を引き下げ
逆に
売上げを
伸ばして
いる
やり手だ
京都の
歴史と伝統を
守る老舗の
主人としても
期待の
…
兄はん

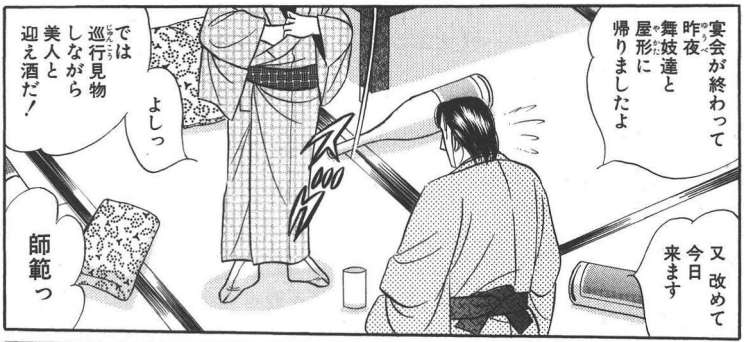

私は
「祇園の胡蝶」
以外に
なりとお
おへんわ
お姐はん
胡蝶はん
姐はん
どこに
いはり
ますの？
おいとま
しますえ
帰りま
ひょ
お姐
はーん


ワンワン
ヤーヤー
コンチキチン
おはよう
みんな


虹之助さん!?
今日も朝から暑いねェ
君達もはやくからその姿でご苦労様
いやどないしはったんどす!?
いつおいでやしたん!?
勿論祇園祭りの山鉾巡行を見に来たんだよ
この先の観覧席を取ってあるんだ
あれ?
胡蝶は?一緒じゃないの?
ヘェお姐さんは旦那さんとご贔屓さんに招ばれて
今日はそのご贔屓さんのお家で山鉾見物どすのやわ
私らも昨夜の宵山はそこでお花どしたん


へ――っ
山鉾の巡行コースにある家かァ
いいねェ涼しく見物ができて
師範！草仁師範!!
ゴ～ゴ～
起きて下さいもう巡行が始まってますよ
そろそろ先頭の長刀鉾が来ます
あ～～～？
ヒソ
はいおヒヤ
お――っ
……師範
ん？
ゴクゴクゴク
言いたかないですけどね
貴方ももういいトシなんだから


酒を飲むなとは言いませんが
もうちょっとひかえたらどーです!?
仮にも聖職者としてのメンツもあるでしょう
胡蝶は？


宴会が終わって昨夜舞妓達と屋形に帰りましたよ
又改めて今日来ます
よしっ
では巡行見物しながら美人と迎え酒だ！
師範っ


いいトシして
人目も憚らずケンカしとるガキどもに
言われたかないわい
……それ
真広の奴にも言って下さい
俺としては精一杯かわしてるんですけどね…


なんでかわすんだ？
ぶつかればいいじゃないか
できる訳ないでしょう！
冗談じゃなく流血沙汰ですよ！
師範も見たでしょう!?
あいつは本気なんだから!!
おまえがそうやってなァ
本気になってやらないから真広はああせざるをえないんだぞ
学生の頃ならまだしも
いい加減にしとけよ
現在はもうお互い
……俺達だけのケンカで収まらなくなるのが困るんです
本当に……
おはよ――っ
こちょ――っ
橘正屋の坊！


おはよう
はんどす
ホンマ〜〜?
ヘヘ〜〜
お祭りの
お衣装
どすか?
よお似合おて
はりますなァ
あのね
胡蝶
あの……
お父さんから
きいてくれた?
橋正屋はん
から?
何どす
やろ?
あのね
こらっ
典広
胡蝶
僕のね
おかあ
……
その先は
私の台詞だ
お父さん
…清白屋の
方には すでに
申し入れて
あるんだが


やはり
こういうことは
直接 本人に
言わなければ
貴女が
好きだ
胡蝶
どうか
橘正屋へ
嫁て欲しい
どうだろう
か？
なっ
に――っ!!?
鉾が
来るぞ
――っ


来るぞ——っ
旦那はん！
坊！
鉾が来ます
早よ内へ
胡蝶はんも
師範の言われる通り
もう暫くと思ってる内にズルズル来てしまったからなァ
…もう少し
胡蝶はっ……
冗談っ
よくもっ
ホラあんた
脇に寄って危ないよ


うーん
いい加減
一区切り
つけるべき
なんだろうが
……
右の色の方が
いいよ
恵慈？
そっちの方が
ばーちゃんに
似合う
絶対
ほな
こっちに
しよかァ
恵慈！
そーかァ
坊の
言わはる通り
どすな
天倫はん
着道楽の
祖母に
つき合って


真広！
幼い頃から出入りしていた「染物問屋」
もういいか？
工房へ行こう
うん！
職人はんらのお邪魔したらあかんえ
恵慈
うんばーちゃん
そこの息子の真広
俺の二番古い友人
坊達(ぼうたち)いつも仲いいねェ
きれ～～～
お母さんに似合いそ～～～
そやなワシらも英勝(えいしょう)はんに着てもろたら冥利(みょうり)やなァ
剣術を習い始めたの!?
恵慈
うんばーちゃんの知り合いが教えてくれるからって

今だって
いっぱい
習い事してる
じゃない
恵慈は

日舞とか
お茶とか
お花とか

ウチの
工房へだって
毎週来て
こうして
染色
習ってるし

恵慈 僕より
才能あるって
職人さん達
言ってたよ

でも 他の
習い事
けずれない
からさ

だから ここへは
あんまり来られなく
なるんだ

そんなァ

お…
面白いの!?
剣術って

うん!
今ントコ
すごく!!

じゃあ 僕も
剣術習う!

恵慈と一緒に
行く!!

真広!?

それからは
熱心に
道場に通った

お互い
競い合って
強くなった

同じ高校に
入ってからは
尚 親密になったが


現在だって
真広は
俺の大事な
友人だ
俺はあいつと
競う気も
争う気もない
最初から
なかった
だが
今回は
今回は…
恵兄はん！
着替え
持って
来ましたえ
……
ああ


お!?
坊(ボン)?
な…何だ!?典広
…恵慈おじさん
胡蝶を……
…そうだな
……やっぱり
こんなのがいたっておかしくない訳だし…
あにふるろ〜〜〜〜っ
もぐもぐ
男はかわいくないな!
恵兄はん!?


典広!?
師範!
お頼みしたい!
何だ?
おう
ちょっときいてる!?
どういうこと!?
恵さん!
ちゃんと説明してよっ!!
恵さんてばっ!!!


僕きいてないよっ
胡蝶が結婚するなんてさっ
何なの!? あの男っ
いくら大店の主人か知らないけどねェ
あんな子持ちの中年っ…
……周一
せめて中年はよせ
俺と同い齢だ…


恵さんっ
おまえを含めて
今更結花の求婚者が何だ!?
玄人だろーと素人だろーと
あいつに結婚を申し込んで来る男はしょっちゅうだ!
真広が特別な訳じゃない!!


……
胡蝶…
結婚するんじゃないの…？
結花が承知してなくてどうしてできるんだ？
……
恵さん
それ真剣…？
そうだ
ああやっぱり少し錆が浮いてるな
磨ぎに出さなきゃな
な…なんでそんな物出して来たの？


居合の勝負は
真剣で
やるもの
だからな
勝負
…!?


おめでとうはんどす
おめでとうはんどす
七月の祇園祭りも今日八月一日の八朔もすんだことだし
俺は明日からちょっと山に籠って来るから
結花乙女姐さん留守頼むな
旦那さん？
山？
籠る？
何どすか？それ
恵ちゃん？
恵兄はん？
草仁師範に九月十五日の義経祭りへ出演を頼まれた
今の内に少し勘を取り戻して来る

普通 京で
「御山」ゆうたら
比叡山の
ことやけど
兄はんのは
鞍馬山や

「籠る」ゆうても
岩屋や御堂で
読経や写経や
断食ゆうんや
ないえ
恵ちゃんのは
剣術や

鞍馬…
剣…

…鞍馬本流
居合道？

…よく
知ってるな
太郎

あった
あった

これや
これ

右が
橘正屋はん

左が
恵ちゃん

二人とも
高校生
くらいやな

この少年
鞍馬の
奥の院で
会うた

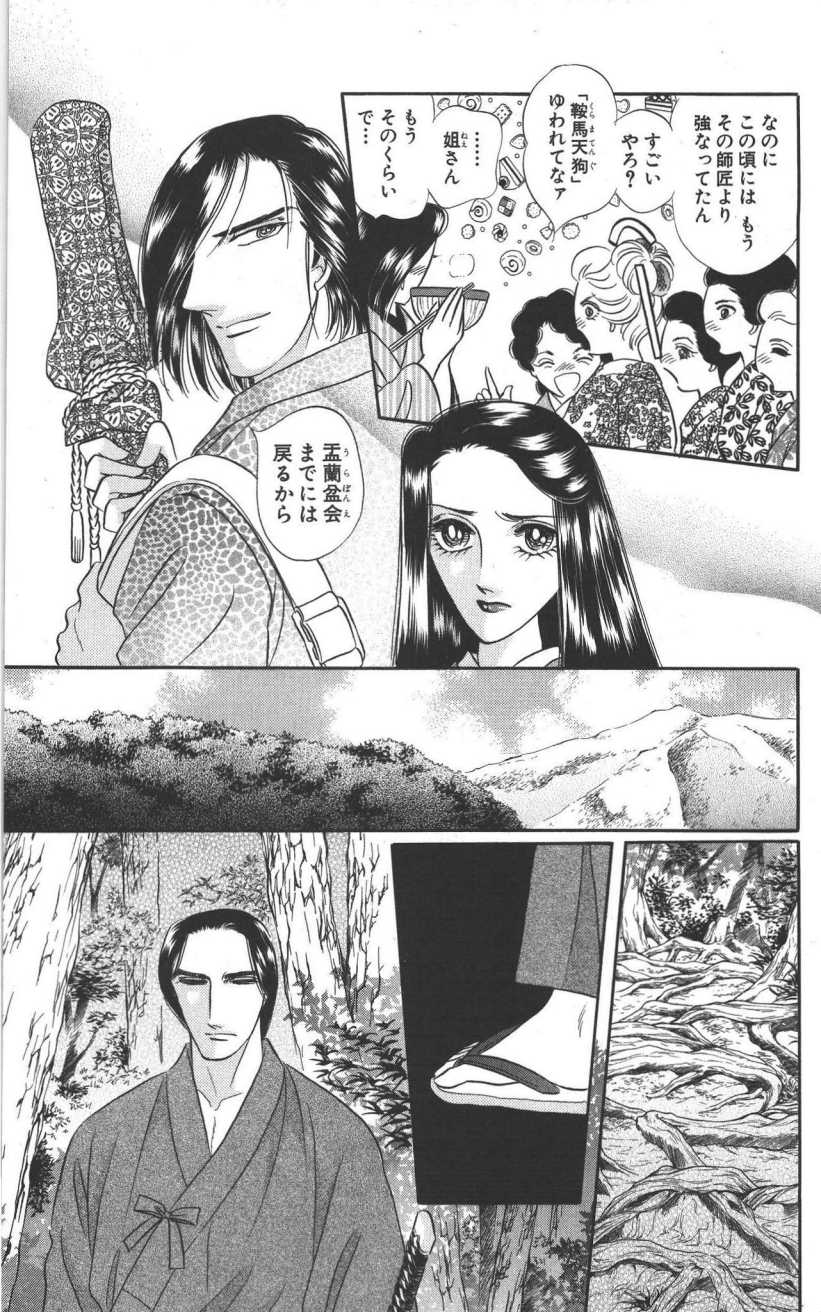
草仁はん
ゆうんは
鞍馬山の
お坊はんで
剣術の
大先生で
若い頃から
前の
女将はんに
惚れとって
なァ
恵ちゃんを
自分の門下に
入れたのも

おマゴさんに
おしえます

どーぞ
かァ

そーやなァ

女将はんへの
点数かせぎみたいな
もんやったんやけどな


なのに
この頃には
もう
その師匠より
強なってたん
すごい
やろ?
「鞍馬天狗」
ゆわれてなァ
……
姐さん
もう
そのくらい
で…
盂蘭盆会
までには
戻るから


師範も凌ぐようになった頃から
恵慈は一切の公式試合に出なくなり
なぜかと周囲が詰め寄ったが
おまえは涼しい顔で答えて言った
剣からも遠去かるようになった
日本一の剣士なんてなりたい奴がなればいいんだ――と

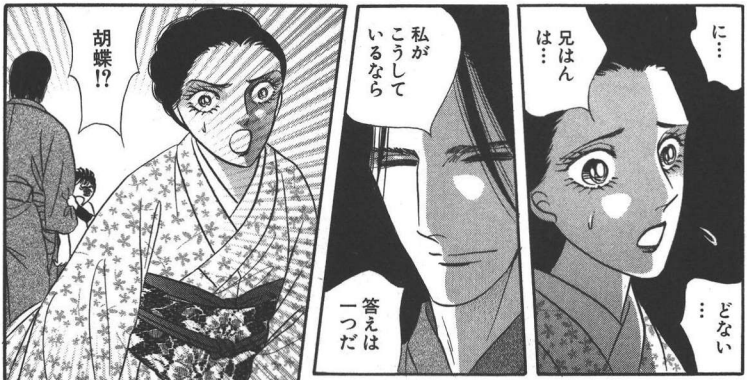

…まだだ
恵慈は又
見つけたんだ
染色より
剣より
何か別の
〝面白いモノ〟
を
わかっている
おまえは
驕っていた訳でも
他人を見下して
いた訳でもない
それは
現在でも
変わらない
だが 懸命に
おまえの後に
付いていってた
私としては
無性に
腹が
立つんだよ


鏡新明智流
練馬
練馬山梅馬寺


お父さーん


典広!?
胡蝶!?


どうして二人とも?
ねェお父さん勝てた?
恵慈おじさんに勝てた!?
お二人が試合しはるゆうは知ってましたさかい
今日橘正屋はんが真剣持って室町のお家を出はったって
坊から連絡もろて…

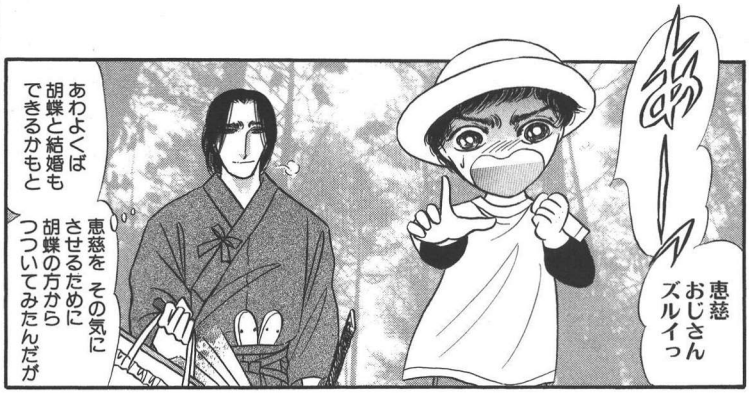

に…
兄はんは…
どない…
私がこうしているなら
答えは一つだ

胡蝶!?


才能
運
努力
…やられた
何か一ツコトを成そうとしたら
何より要るのは執着心
つまり〝欲〟だ
直刀にしてはかなりの逸品だったんだけどなァ
真広の奴 腕上げたな
…おまえは気が多すぎるんだ恵慈
師範？
何にでも興味を持って 手を出して
なまじ 何でも人並以上にできるものだから
図に乗って付け上がる
他人の羨む才能 タレ流すんじゃない!!
すいません…
俺はその執着があまり長く続かない
理由は師範の指摘通り


色々
やったよな
交際する女が
替わるたび
趣味変えてた
からな
料理も
着付けも
髪結いも
そうやって
覚えたんだが…
家事と芸が
できると
女にモテた
からなァ
その俺が
役に
立ってるから
いーけど…
……
恵兄はんっ
まさか一番
身近にいた
この妓を
見つけて
兄はん
兄はんっ
大丈夫
どすか!?
どこか
ケガを…
今は
こんなにも
捕われて
…結花


俺と結婚してくれないか？
失くしたくない
絶対に永久に
……兄はん
な…何を急に
急じゃない
ずっと切り出す時期を考えてたせめて今の舞妓達が衿替えしてからと思ってたんだが
ほしたらなんで…
真広の真摯な求婚に
おまえが「祇園の胡蝶」であり続けるための
おまえが受けるはずないとわかっていても少したじろいだ
俺は能う限りの手助けを
あいつは本当にいい男だからな


恵慈
おじさん
ズルイっ
恵慈を その気に
させるために
胡蝶の方から
つついてみたんだが
あわよくば
胡蝶と結婚も
できるかもと


あんな思いは
もうたくさんだ
誓う
——!!
嬉しい
……!


負けた
くせにっ
負けた
くせに
〰〰っ
ヌヨ
う〜
う〜

—夏祭り—／おわり

《収録作品メモ》
●玄椿―芙蓉花―　平成16年　メロディ８月号掲載
●玄椿―龍笛―　平成17年　メロディ４月号掲載
●玄椿―闇魔天狗―　平成17年　メロディ６月号掲載
●玄椿―夏祭り―　平成17年　メロディ８月号掲載
●河惣的日々是好日　平成17年　メロディ９月号掲載

花とゆめCOMICS
玄椿⑥

2005年11月10日　第１刷発行

著者　河惣益巳
©Masumi Kawasou 2005
発行人　内山晴人
発行所　株式会社　白泉社
〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町２－２－２
電話・編集 03(3526)8045
販売 03(3526)8010
業務 03(3526)8020
印刷所　図書印刷株式会社

ISBN4-592-18266-9
Printed in Japan HAKUSENSHA

●造本には十分注意しておりますが、乱丁・落丁（本のページの抜け落ちや順序の間違い）の場合はお取り替え致します。購入された書店名を明記して「業務課」あてにお送り下さい。送料小社負担にてお取り替え致します。但し、新古書店で購入したものについては、お取り替えできません。
●本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載、上演、放送などをすることは、著作権法上での例外を除いて禁じられています。










9784592182665

ISBN4-592-18266-9

C9979 ¥390E

1929979003906

定価 本体390円+税

雑誌43782－62



花とゆめCOMICS

▶収録作品◀

京都の芸妓屋形・清白屋の胡蝶は、都一と評判の京舞の名手。その舞は、人はもとより神々までをも魅了する！　噂を聞きつけた貴船神社の玉依姫が、自らが司る水祭りで、胡蝶に奉納舞をさせたのだが――!?　豪華絢爛、祇園ドラマティックストーリー第6巻登場!!

■メロディ掲載■

白泉社